

令和9年度（2027年度）

入学者選拔要項

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University

不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供

自然災害、人為災害や疫病・感染症の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、以下のウェブサイトにてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、試験日程や選抜方法を変更したうえで、入学者の選抜を行うことがあります。

・横浜国立大学 ウェブサイト <https://www.ynu.ac.jp/>

ChatGPTをはじめとする生成AIの利用について

横浜国立大学では、学生に対して、ChatGPTなどの生成AIに対する注意喚起を行っています。入学試験に関しても、下記の注意事項を踏まえて、必要な提出書類等の作成を行うようお願いします。

なお留学生の皆さんは、下記の他、必要に応じて、各国・地域の方針・法令等も踏まえるようお願いします。

注意事項

生成AIに入力した情報は、AIの学習に利用されたり、意図せず漏洩したりする恐れがあります。また生成AIの出力する情報は、出典が明らかではなく、虚構や、偏った主張、倫理上問題のある表現などが含まれている危険性があります。

出願書類等の作成に当たっては、横浜国立大学の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に考えたものを提出してください。

目 次

I	横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	入学者の募集人員	6
III	一般選抜	
	1. 入学者選抜の実施方法	7
	2. 出願資格	7
	3. 一般選抜実施日程	8
	4. 併願	8
	5. 出願に関する各学部の留意事項	8
	6. 2段階選抜	10
	7. 試験科目設定の意図	11
	8. 一般選抜の実施教科・科目	
	（1）教育学部	13
	（2）経済学部	17
	（3）経営学部	19
	（4）理工学部	21
	（5）都市科学部	24
	9. 教育学部の実技検査	29
10	欠員の補充等	31
11	一般選抜に係る入試情報開示	31
12	個別の入学資格審査により出願する場合の手続	31
IV	特別選抜	
	1. 総合型選抜	
	（1）教育学部	33
	（2）経済学部	37
	（3）理工学部	39
	（4）都市科学部	43
	2. 学校推薦型選抜	
	（1）経営学部	50
	（2）理工学部	51
	3. 帰国生徒選抜、外国学校出身者選抜	
	（1）経済学部 外国学校出身者選抜	54
	（2）経営学部 帰国生徒選抜	56
	（3）都市科学部 帰国生徒選抜	57
	4. YOKOHAMA SOCRATES PROGRAM 入試	59
	5. 特別選抜における小論文及び面接の内容	61
V	私費外国人留学生等の入学者選抜	
	1. YGEP-N1（渡日入試）	63
	2. YGEP-N1（渡日前入試）	66
VI	学生募集要項（願書）の配布および問い合わせ先	67
VII	受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の配慮申請	68
VIII	過去の入試データ	69
<input type="checkbox"/>	共通テスト 地理歴史・公民2科目受験時に選択可能な組み合わせ一覧	70
<input type="checkbox"/>	「こども性暴力防止法」令和8（2026）年12月25日施行にあたり、出願前にご確認いただきたい重要事項について	71
<input type="checkbox"/>	キャンパス案内図	73
<input type="checkbox"/>	交通案内図	74

I 横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【横浜国立大学（YNU）が求める学生像】

YNUは、4つの実践的「知」すなわち「知識・教養」「思考力」「コミュニケーション力」「倫理観・責任感」を身に付けた人材の育成を目指す。よって、自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語り、柔軟な発想と主体的・創造的な課題探究・解決能力を身に付け、社会のリーダーとしてグローバルな共生社会への貢献を目指す次に示す人の入学を求める。

- 入学後の修学に必要な幅広い基礎学力を備え、確かな知識や技能を身に付けたい人
- 知的好奇心や科学的探究心を持ち、新たな発見やアイデアを創造する思考力や判断力を獲得したい人
- 社会が直面する諸課題を解決するために、多様な人々と協働して主体的に社会へ参画する強い意志と責任感を持ちたい人
- 国境を超えたグローバル時代において、外国人学生と共にコミュニケーション力を高め、世界を舞台に発信・飛躍したい人
- 大学院に進学し、さらに高度の知識・技能を身に付け、高度専門職業人として社会に貢献したい人

【横浜国立大学（YNU）の入学者選抜の基本方針】

YNUの大学入学者選抜は、入学者が高等学校段階までに身に付けた力を、大学が発展・向上させ、社会に送り出す大学教育システムを前提に、学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）の卒業認定・学位授与の方針（Policy1 ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（Policy2 カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、入学志願者に求める学力を構成する3つの要素（※）を多面的・総合的に評価するものとする。学部、学科・課程は、高等学校で履修すべき科目等をあらかじめ具体的に明示するとともに、大学入学後の教育課程プログラムとの関連を十分に踏まえつつ、次に掲げる学力検査の実施方針に基づき入試方法の多様化、評価尺度の多元化に努める。

（※）学力を構成する3つの要素

- ・ 基礎的・基本的な知識・技能
- ・ 知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力
- ・ 主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

YNUでは、学士課程における教育目標の達成のため、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシーに加え、学士課程教育の質保証の方針（教学マネジメントPDCA・ポリシー）を含めた4つの方針について明確化し、公表しています。 <https://www.ynu.ac.jp/education/plan/initiative/>

学力検査等の実施方針

- 本学が実施する教科・科目に係る個別テスト（以下、「個別テスト」という。）等は、高等学校学習指導要領に準拠し、高等学校教育の正常な発展の障害とならないよう十分留意し、適切な方法により実施する。
- 個別テスト等を実施する教科・科目は、学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに、卒業認定・学位授与の方針（Policy1 ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（Policy2 カリキュラム・ポリシー）を踏まえ設定する。
- 総合型選抜は、知識・技能の修得状況に重点を置いた選抜基準とせず、口頭試問等の検査、大学入学共通テストの成績などの活用により入学志願者の能力、適性、意欲、関心等を多面的、総合的に判定する。
- 学校推薦型選抜は、高等学校の教科の学習成績概評を出願要件や合格判定に用い、筆記や実技、口頭試問等の検査、大学入学共通テストの成績などの活用により入学志願者の能力・適性等を多面的、総合的に判定する。
- 帰国生徒選抜・外国学校出身者選抜は、外国における教育事情の違いなどに鑑み、広く入学志願者の能力・適性等に応じ選抜がなされるよう学力検査の全部又は一部免除を図り、小論文や面接等を適切に組み合わせて入学志願者の能力・適性等を多面的、総合的に判定する。

各学部が求める学生像

1. 教育学部

教育学部の教育理念は、教育現場の未来を支えるべく、多面的かつ包括的な視野と洞察力とを兼ね備え、社会の変化に柔軟に対応できる次世代の教員養成を目指すことにある。教育学部（学校教員養成課程）は、学校教育に関心が高く、教員として子供の学びへの支援の方法を能動的かつ協働的に創造していこうとする強い熱意を有する、次に示す人を求める。

- 教員として、子供とコミュニケーションをとりながら共に学び続けたい人
- 学校教育の充実、創造に貢献したい人
- 特別支援教育の充実、創造に貢献したい人
- 現代的な教育課題に対して、他者と協働的に広い視野に立った解決策を構想し実践したい人

2. 経済学部

経済学部は、経済社会の重要な問題を把握し、明晰な分析能力を備えて、問題解決の方向を探究する力を持ち、必要な情報にアクセスしてそれらを情報発信できる力をもった人材の育成を目指す。よって、次に示す人の入学を求める。

- 経済・社会・歴史・制度・法律に深い関心を持ち、世界経済を長期的に展望する能力を育み、国際社会が抱える問題の解決に取り組みたい人
- 市場システム・経済社会制度を学び、経済学的手法で経済社会の諸問題の解決に挑戦したい人
- 必要な情報に自分からアクセスして自己の思考で整理し、さらに自ら情報を発信する力を身に付けたい人

3. 経営学部

経営学部では、経済活動を通じて社会における課題の解決に貢献する人材の育成を目指し、次のような人を求める。

- 消費者や企業等の経済活動に関心を持つとともに、社会において解決すべき課題を自ら発見する意欲を有している人
- 経営学、会計学、マーケティング、オペレーション・マネジメント、ファイナンスといった分野で学習した内容を社会的な課題の分析、および、解決策の導出に生かしたいと考え

ている人

- 創造的かつ独創的な視点に立ち、社会的課題の解決までの道筋を見出すとともに、その実行に向けて、周囲の人々と共に目標を達成する協調性を備えている人

4. 理工学部

- 自然科学の真理探究や独創的なものづくりを通して、自ら成長・発展しようとするチャレンジ精神にあふれ、新しい時代に対応できる理工系のセンスを磨き、国際的視野を持って多様性を尊重し世の中への貢献を志す人

【機械・材料・海洋系学科が求める学生像】

- 機械工学、材料工学、または海洋空間のシステムデザインの分野に興味を持ち、マイクロから宇宙までの様々なスケールの事象に対して知恵と技術さらにモノと情報を用いることで、環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人
- 自由と責任を有する大人としての自立性と、基盤となる数学・物理・化学の基礎的能力を持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持つ人

機械工学教育プログラム

- 自動車、航空・宇宙、ロボット、福祉・医療など、様々な分野で利用される機械やシステムに興味を持っている人
- 機械工学の知識やものづくりの技術を生かして、持続可能で心豊かな社会を構築することに貢献したい人

材料工学教育プログラム

- 材料工学に強い関心を持ち、新材料やその応用技術を開発したいと希望する人
- 物理や化学に基づいた、材料の様々な性質が生み出される仕組みの解明に興味がある人
- 既存の材料や製造プロセスに環境負荷低減技術を積極的に導入したいという意欲にあふれる人

海洋空間のシステムデザイン教育プログラム

- 環境と調和しつつ世界中を駆けめぐる“未来型の船舶や航空機”、世界中に潜在する海洋エネルギーや海底資源の利用を推進するための“斬新な海洋構造物”の設計エンジニアになりたい人
- 海洋から大気圏さらに宇宙を活躍の場とする“船舶、航空機、人工衛星の運用”の最適化を通して、人や物資や情報の流れを作り、世界を1つにすることを目指したい人

【化学・生命系学科が求める学生像】

- 自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな21世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人
- 向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人

化学教育プログラム

- 化学の基礎知識を十分備え、さまざまな自然科学の知識を活用して、現象の真理を原子や分子レベルから探究することのできる研究者、および最先端化学を駆使することで、地球規模で人類が抱える諸問題解決や新しい機能性材料、エネルギー化学の創造に貢献できる技術者を指す人

化学応用教育プログラム

- 化学の基本知識を応用し、高度な化学反応プロセスや先端材料、新エネルギー材料の開発、実践的な安全管理や環境創出といった未来社会への課題解決に貢献できる研究者・技術者を指す人

バイオ教育プログラム

- 生物学、化学、物理学を基礎とする現代生物学の方法を通して生命を理解し、その成果を食糧問題や生命・医療などのグローバルな課題の解決に応用できるバイオ関連の技術者・研究者を指す人

【数物・電子情報系学科が求める学生像】

- 数学、物理の基本原理を深く理解し、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があって、理工学の諸分野で国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲に満ちあふれた人
- 数学、物理、光や電気・電子、情報について強い関心や高い能力を持つ人

数理科学教育プログラム

- 数学を中心とする学術分野である数理科学を縦横に活用して社会に貢献したい人、また、数理科学の発展に貢献し国際的に活躍したい人
- 近年の情報科学の発展にも興味があり、その先進的な知見・技術を活用するとともに、数学的手法も駆使し、世の中の複雑な現象を理解したり、社会の問題を解決したい人

物理工学教育プログラム

- 宇宙、素粒子、様々な物質系などの性質を物理学の手法を用いて探究することに関心のある人
- 物理学を深く理解したうえで、工学の幅広い分野で常に原理に立ち返って新しい科学技術を生み出したい人

電子情報システム教育プログラム

- 電気・電子・通信・情報工学の分野に興味があり、これらの分野の研究者・技術者として、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする意欲がある人
- 電気・電子・通信・情報工学の分野で、国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲がある人
- 電気・電子・通信・情報工学の分野の研究者・科学者として、得られた知見を主体的に社会に還元することに意欲がある人

情報工学教育プログラム

- 情報学・情報工学の基礎から応用までを身に付け、自ら先端的な情報理論・処理方式・システムを創造して社会に貢献する意欲を持った人
- 人の優れた知能や能力をコンピュータ・機械で実現し、人を支援することで、人を中心とした豊かで安全・安心な未来社会を実現したいと考えている人

5. 都市科学部

- 理工系と人文社会系の知識を学ぶことで文理両面やダイバーシティ（多様性）の視点、複眼的思考を身に付けたい人
- ローカル・グローバルにわたる多次元的な世界を相互理解できる広い視野をもち、横断的な課題解決能力、総合力を身に付けたい人
- 上記の視点と視野・知識・能力・技術を身に付けて、街づくり、都市文化・社会基盤構築、自然との調和で都市の未来に貢献したい人

【都市社会共生学科が入学者に求める学生像】

- 人文社会科学分野の知識や技能を活用し、われわれの未来にとって豊かで美しく、国際的・文化的に魅力のある都市社会の発展に寄与したい人
- 歴史・文化・地域・社会に関する深い理解にもとづいて、現代社会、都市社会の多様な課題を考究し、時代や状況に応じた制度づくりや新しい芸術・文化の構想によってこれからの社会に貢献したい人
- 地球的な視野を持ってダイバーシティ（多様性）がはらむ創造的な可能性、および格差や貧困などの問題を把握し、人間生活の社会の向上のための活動を国内外で行いたい人

【ソクラテスプログラムが入学者に求める学生像】

- 本プログラムで、ローカル及びグローバルな空間に横たわる政治的、経済的、社会的課題に対し Social Resilience と Social Sustainability の視点から対応できる人材を養成するにあたり、幅広い視点から社会課題を人文社会科学の方法を使って分析・考察・実践することにより解決し、多彩な分野で活躍できる可能性をもった入学者を求めます。

【建築学科が入学者に求める学生像】

- 建築の思想を中心に芸術から工学まで幅広く学び、これからの時代を担う建築を都市の中に構想できる創造的な建築家になりたい人
- 自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい人
- 自然と調和した住空間のデザインスキルを身に付け、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい人
- 都市や建築の成り立ちや歴史の変遷を知り、未来社会に向けた持続可能な新しい街づくりを実践できる都市計画プランナーや都市デザイナーになりたい人
- 建築や都市に関する知見を生かして、地域社会や国際社会のファシリテーションやマネジメントに積極的に関わっていきたい人

【都市基盤学科が入学者に求める学生像】

- 自然環境との調和や共生など地球的観点に立ってより良い都市や国土の創造に興味がある人
- 地震、台風、火山、豪雨、津波などの自然災害から都市や社会を守るために、土木工学の基礎学理をリスクマネジメントに応用して、防災・減災の取り組みをしたい人
- IT/ビッグデータなどの最先端技術/情報と土木工学を融合させ、社会基盤の整備、維持管理や運用に利活用して、都市や社会生活を豊かにしたい人
- 世界の政治や社会、経済状況に広く関心を持ち、社会基盤整備や地球規模の環境保全を通して、国際的に活躍したい人

【環境リスク共生学科が入学者に求める学生像】

- 複雑で多様化した環境リスクに対し、ヒトから都市、自然生態系、地球までのシステム全体を視野に入れた知識展開力を身に付けたい人
- 豊かさと表裏一体で生じるリスクとバランスをとる「リスク共生」社会の実現をめざし、自然環境と社会環境のリスクを科学的に捉える数理的思考力と、ヒト・社会と対話できる社会科学的思考力を併せ持つ文理融合的素養を身に付けたい人
- 都市に恵みや災いをもたらす自然システムや都市や地域に潜む環境リスクを予測・評価・分析し、リスクと共生した持続的発展に貢献できる実践力を身に付けたい人

II 入学者の募集人員

学部	課程・学科・コース 教育プログラム(EP) (EP: Education Program)	入学 定員	一般選抜		総合型選抜	学校推薦型選抜	帰国生徒 選抜	外国学校 出身者 選抜	YOKOHAMA SOCRATES PROGRAM	私費外国人留学生入試		
			前期日程	後期日程						YGEP-N1 (渡日入試)	YGEP-N1 (渡日前入試)	
教育学部	学校教員養成課程 言語・文化・社会系教育 コース 自然・生活系教育コース 支援系教育コース 音楽・美術・保健 体育・心理学専門 領域 特別支援教育専 門領域	182	32	—	専門領域枠 地域教員 希望枠	64	36	—	—	—	—	—
			29	—								
			27	—								
	小計	18	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	200	100	—	100	—	—	—	—	—	—	—
・一般選抜の各コース・専門領域の募集人員は予定数であり、志願状況等により合格者数に増減があります。 ・総合型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。												
経済学部	経済学科	258	145 (一般 125 DSEP 10 LBEEP 10)	90 (一般 75 DSEP 10 LBEEP 5)	15	—	—	若干名 (前期日程 内数)	—	8	—	
			・総合型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試) の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。									
経営学部	経営学科	297	158 (一般 148 DSEP 10)	82 (一般 78 DSEP 4)	—	49	—	若干名 (前期日程 内数)	—	8	—	
			・学校推薦型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試) の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。									
理工学部	海洋系学科 機械・材料・ 材料	185	56	50	—	—	—	—	—	—	—	
			18	16	8	—	—	—	—	—	—	
			17	8	10	—	—	—	—	—	—	
	学生化 科命学 系	187	86	66	—	33	—	—	—	2	—	
			化学EP・化学応用EP・ バイオEP									
	電子情 報系学 科	310	20	15	—	—	—	—	—	—	—	
数理学EP 物理学EP												
60			30	—	—	—	—	—	—	—		
電子情 報系学 科	310	60	37	—	一般枠 8	女子枠 8	—	—	—	2	—	
		電子情報システムEP 情報工学EP										
小計	682	362	247	18	49	—	—	—	6	—		
・総合型選抜または学校推薦型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試、渡日前入試) の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充 します。												
都市 科学 部	都市社会共生学科	74	30	8	28	—	—	—	8	—	—	
	建築学科	70	40	19	7	—	2	—	—	2	—	
	都市基盤学科	48	18	12	10	—	—	—	—	8	—	
	環境リスク共生学科	56	33	10	10	—	—	—	—	3	—	
	小計	248	121	49	55	—	2	—	8	13	—	
・YOKOHAMA SOCRATES PROGRAM の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、総合型選抜の合格者で補充します。 ・総合型選抜または帰国生徒選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 ・YGEP-N1 (渡日入試) の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。												
合計		1,685	886	468	188	98	2	若干名	8	35	—	

ディーセップ

DSEP : 正式名称は Data Science 教育プログラム。経済学部と経営学部が連携して実施する教育プログラムで、経済・経営の専門性と情報処理・統計分析能力の融合による新たな価値創造ができる人材を育成します。なお、同プログラムを履修可能な入試を実施しているのは、経済学部と経営学部の一般選抜です。

エルビーブ

LBEEP : 正式名称は Lawcal Business Economics 教育プログラム。法学・政治学と経済学を学び、かつデータサイエンスの基礎も身に付け、エビデンスに基づく課題解決を担う人材を育成します。なお、同プログラムを履修可能な入試を実施しているのは、経済学部の一般選抜です。

ワイゼップ エヌワン

YGEP-N1については63ページを参照してください。

Ⅲ 一般選抜

1. 入学者選抜の実施方法

- (1) 入学者の選抜は、各学部の学科・課程の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」の両試験日程でそれぞれ入学者を募集し、選抜試験を実施します。ただし、教育学部では「後期日程」の選抜を実施しません。
- (2) 入学者の選抜は、令和9年度（2027年度）大学入学共通テストの成績と本学が行う個別テスト・実技検査・面接・調査書・自己推薦書を総合して行います。
- (3) 調査書は簡潔に記載されていればよく、記述量の多寡は問いません。自己推薦書は志望学部・学科等のアドミッションポリシーを踏まえた大学入学後の目標と、その目標を達成するために努力したいことなど、学びに対する姿勢と学習意欲を確認します。教育学部、都市科学部では、面接試験において自己推薦書等を用いることがあります。また、学部によって独自の追記事項を課す場合があります。
- (4) 大学入学共通テストは、必ず令和9年度（2027年度）大学入学共通テストのうち学部・学科等が指定する教科・科目をすべて受験してください。なお、「地理歴史」・「公民」・「理科」において2科目受験する場合は、第1解答科目で学部・学科等が指定した科目を受験してください。（本学では大学入学共通テスト成績の過年度利用は行いません。）

2. 出願資格

入学を志願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ令和9年度（2027年度）大学入学共通テストにおいて、各学部・学科等が指定する教科・科目のすべてを受験した者です。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年（2027年）3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年（2027年）3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年（2027年）3月31日までにこれらに該当する見込みの者（※1）
※1 外国にある学校（インターナショナルスクール等）の課程を修了した者は、出願資格が認められない場合がありますので、出願資格の有無を確認したい場合には、出願前できるだけ早い時期に学務・国際戦略部入試課（連絡先は67ページを参照）に連絡をしてください。
- (4) 本学において、個別の入学資格審査（※2）により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものと及び令和9年（2027年）3月31日までに18歳に達するもの
※2 詳細については31ページ（12. 個別の入学資格審査により出願する場合の手続）をご覧ください。

【参考】学校教育法施行規則第150条の規定内容

1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年（2027年）3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年（2027年）3月までに修了見込みの者
3. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び

令和9年（2027年）3月までに修了見込みの者

4. 文部科学大臣の指定した者
5. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年（2027年）3月31日までに合格見込みの者で、令和9年（2027年）3月31日までに18歳に達するもの
- 5の2. 学校教育法第九十条第二項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和四年文部科学省令第十八号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
6. 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
7. 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び令和9年（2027年）3月31日までに18歳に達するもの

3. 一般選抜実施日程

募集要項公表	令和8年（2026年）11月中旬
出願期間 （前期日程・後期日程共通）	ウェブ出願登録期間 令和9年（2027年）1月22日（金）～2月2日（火）
	郵送出願期間 令和9年（2027年）1月25日（月）～2月3日（水） ※郵送出願期間を過ぎて令和9年（2027年）2月4日（木）10時までに到着した出願書類のうち、令和9年（2027年）2月2日（火）までの発信局消印のある書留速達郵便に限り受理します。
個別テスト実施日	前期日程 令和9年（2027年）2月25日（木） 後期日程 令和9年（2027年）3月12日（金）
合格者発表日	前期日程 令和9年（2027年）3月6日（土） 後期日程 令和9年（2027年）3月20日（土）

※学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。

4. 併願

志願者は、国立大学・学部のうち、分離分割方式の「前期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、合計2つの大学・学部に出願することができます。従って、「前期－後期」の併願は認められますが、「前期－前期」、「後期－後期」の併願は認められませんので注意してください。

5. 出願に関する各学部の留意事項

（1）教育学部

教育学部学校教員養成課程は「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース」の3コースで構成されます。また、各コースの専門領域・募集人員・試験科目は、次のとおりです。なお、各コース・専門領域の募集人員は予定数であり、志願状況等により合格者数に増減があります。

コース	専門領域	募集人員	試験科目
言語・文化・社会系教育コース	国語	32	面接試験 小論文（教育課題論文）試験
	社会		
	英語		
	日本語教育		
	教育学		
自然・生活系教育コース	数学	29	面接試験 小論文（教育課題論文）試験
	理科		
	技術		
	家庭科		
芸術・身体・発達支援系教育コース	音楽	7	面接試験 実技検査（音楽の実技）
	美術	5	面接試験 実技検査（美術の実技）
	保健体育	7	面接試験 実技検査（体育の実技）
	心理学	8	面接試験 小論文（教育課題論文）試験
	特別支援教育	12	面接試験 小論文（教育課題論文）試験

- ①「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース」のいずれか1つのコースを選択してください。なお、「芸術・身体・発達支援系教育コース」は、専門領域についても音楽・美術・保健体育・心理学・特別支援教育のいずれか1つの領域を選択してください。入学後は合格した入試で選択したコース・専門領域に所属することとし、コース・専門領域の変更は認めません。
- ②「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）」（募集人員計81名）は面接試験と小論文（教育課題論文）試験を受験してください。「芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）」（募集人員計19名）は、面接試験と選択した専門領域の実技検査「音楽の実技」・「美術の実技」・「体育の実技」を受験してください。また、入学者の選抜は選択したコース・専門領域ごとに行います。
- ③「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」に入学した者については、第1学年の10月頃までに、コース内で専門領域を決定します。この決定は、本人の希望及び入学後の学修状況を基に行います。ただし、特定の専門領域を多数の者が希望した時には、選考試験を行います。
- ④教育学部を志望される際は、71～72ページ「「こども性暴力防止法」令和8（2026）年12月25日施行にあたり、出願前にご確認いただきたい重要事項について」の内容を十分にご理解いただいた上で、出願をご検討ください。
- ⑤学校教員養成課程における修学上の留意事項については、本学のウェブサイトを確認してください。
<https://www.edu.ynu.ac.jp/campus/attention/>

（2）経済学部

- ①前期日程と後期日程のそれぞれにおいて、志望できる教育プログラム（一般、^{ディーセップ}DSEPまたは^{エルビーブ}LBEEP）は1つに限ります。選抜については、全てのプログラムの受験者を同一の基準で行い、一般プログラムの合格者として決定します。その合格者のうち、DSEP志望の受験者は個別テストの数学科目上位成

績者から、LBEEP 志望の受験者は大学入学共通テスト及び個別テストの偏差値の合計の高い者から合格者を選抜します。そのため ^{ディーセップ}DSEP または ^{エルビーブ}LBEEP を志望した場合でも、選抜の結果、一般プログラムの合格者となる場合があります。

②入学後に、他の教育プログラムに変更をすることはできません。

(3) 経営学部

①前期日程と後期日程のそれぞれにおいて、志望できる教育プログラム（一般または ^{ディーセップ}DSEP）は1つに限ります。選抜については、全てのプログラムの受験者を同一の基準で行い、一般プログラムの合格者として決定します。その合格者のうち、^{ディーセップ}DSEP 志望の受験者における個別テストの数学科目上位成績者から、^{ディーセップ}DSEP 合格者を選抜します。そのため ^{ディーセップ}DSEP を志望した場合でも、選抜の結果、一般プログラムの合格者となる場合があります。

②入学後に、^{ディーセップ}DSEP と一般プログラムの間での教育プログラム変更はできません。

(4) 理工学部

①前期日程と後期日程のそれぞれにおいて、志望できる学科は1つに限ります。

②機械・材料・海洋系学科及び数物・電子情報系学科では、同じ学科内に限り、他の教育プログラムを第2志望とすることができます。各教育プログラムは、それぞれ教育内容に特徴があるので、第2志望の教育プログラムを選択する際は十分考慮してください。なお、化学・生命系学科の学生募集は教育プログラムを分けずに行い、教育プログラムの決定は、第2学年進級時に本人の希望と科目履修状況に基づいて行います。

③入学後に、同じ学科内の他の教育プログラムに変更を申請することができます（転EP制度）。変更を申請できる機会あらかじめ定められた時期の1度のみで、入学後の成績を考慮して決定します。なお、変更できる人数には制限があります。また、化学・生命系学科においては転EPの制度はありません。

(5) 都市科学部

前期日程と後期日程のそれぞれにおいて、志望できる学科は1つに限ります。

6. 2段階選抜

本学の一般選抜では、2段階選抜は行いません。

7. 試験科目設定の意図

(1) 教育学部

教員となるための資質として、広い視野・教育に対する関心・問題解決への強い意志を必要とします。このため、高等学校では読解力や英語力を身につけ、文理双方の幅広い基礎教科を学んでください。

一般選抜では、教員志望の熱意、コミュニケーション能力等の適性を確認し、教員になるという意志が強く、教員になる上での資質の高い学生を選抜するために、受験者全員に集団面接試験を課します。

「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）」を受験する者には読解力・文章作成力・論理的思考力などの教員になる上での基礎的な資質を評価するために小論文（教育課題論文）試験を課します。また、音楽、美術、保健体育専門領域を受験する者には音楽、美術、体育の実技検査を課し、学校教員として必要となる実技能力を備えているか評価します。

(2) 経済学部

高等学校では基本科目を幅広く学んでください。一般選抜では数理的・論理的分析と国際コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学および英語の両方に優れた人を、後期日程では数学または英語のいずれかに秀でた人を求めます。

(3) 経営学部

高等学校では、基本科目を幅広く学ぶとともに、とりわけ数学と英語の学力向上に努めてください。一般選抜では論理的思考力と国際コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学または英語のいずれかに秀でた人を、後期日程では数学および英語の両方に優れた人を求めます。

(4) 理工学部

高等学校で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語、情報の幅広い基礎的な能力を前提とし、理工学の専門分野の特性を考慮し、数学と理科および英語の知識、技能および思考力を特に重視します。

機械・材料・海洋系学科

機械・材料・海洋系の広範な分野の基礎となる数学、物理、化学に関する知識・学力をしっかりと身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜の前期日程では、理工学を学ぶうえで重要な基礎となる数学、物理、化学、英語を課します。後期日程では、数学および物理・化学を課し、その科目に秀でた人を求めます。

化学・生命系学科

高等学校では、化学はもちろんのこと、数学や物理、生物などの基本科目を学び、知識を身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜では、化学をはじめ、数学や物理に秀でた人を求めます。前期日程では、数学、物理・化学に加え英語を課します。

数物・電子情報系学科

数物・電子情報系の広範な分野の基礎となる数学、物理、化学に関する知識・学力を身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜の前期日程では、数学、物理・化学、英語を課します。後期日程では、特に数学と物理・化学に秀でた人を求めますが、国際性を考慮し、大学入学共通テストにおいては外国語を重視して審査します。

(5) 都市科学部

都市社会共生学科

高等学校では、文理双方の基本的科目を幅広く学んでください。

一般選抜の前期日程では、国語、英語及び地理歴史・公民の学力を土台とする小論文を課すことで、読解力・表現力と論理的思考を問います。後期日程では、面接試験を課すことで、総合的な思考力を問います。

建築学科

高等学校では、建築学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学んでください。

一般選抜の前期日程では、数学、理科、英語を課します。後期日程では、数学、理科を必須科目とすることで、論理的能力に秀でた人を求めます。

都市基盤学科

高等学校では、都市基盤学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学んでください。

一般選抜の前期日程では、数学、理科、英語を課します。後期日程では、数学、理科を必須科目とすることで、論理的能力に秀でた人を求めます。

環境リスク共生学科

高等学校では、英語、数学、国語、地理歴史・公民、理科の基礎科目をしっかりと学んでください。一般選抜の前期日程においては数理的な能力や理科の能力、さらにグローバルな専門家として活躍するための英語力を問い、環境リスクを扱うために必要なバランスの良い学力を持つ人を求めます。後期日程では数学と小論文を課して論理的思考力と表現力に秀でた人を求めます。

8. 一般選抜の実施教科・科目

(1) 教育学部

【学校教員養成課程 言語・文化・社会系教育コース、自然・生活系教育コース、芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目		
	教科	科目名等 (注2)	
前期日程 (81名) (注1)	国語 地理歴史 公民科 数学 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」 } から1又は2 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 } (a) 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 から2 } (b) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から1 } (a)～(d)の (c) 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 から2 } いずれか 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から1 } (d) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から2 } 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1 「情報Ⅰ」	地理歴史・公民から 2科目の場合、 理科は(a)又は(b) 地理歴史・公民から 1科目の場合、 理科は(c)又は(d)
			地理歴史・公民から1科目の場合 [6教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合 [6教科8科目] 又は [7教科8科目]

②個別テスト等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等 (注3)	2段階選抜
前期日程 (81名) (注1)	その他	集団面接試験（調査書及び自己推薦書の評価を含む）と小論文（教育課題論文）試験	実施しない

- (注1) 1. 各コース・専門領域の募集人員は、「言語・文化・社会系教育コース」32名、「自然・生活系教育コース」29名、「芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学専門領域）」8名、「芸術・身体・発達支援系教育コース（特別支援教育専門領域）」12名です。
 2. 「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」に入学した者は、そのコース内のいずれかの専門領域に進むことになります。「芸術・身体・発達支援系教育コース」の各専門領域に入学した者は、それぞれの専門領域に所属し、他のコース・専門領域に進むことはできません。
 3. 選抜の結果によっては、合格者数が各コース・専門領域の募集人員に満たない場合があります。

- (注2) 1. 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。
 2. 「理科」で(c)を選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）の選択を認めず。
 3. 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(c)又は(d)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。
 4. 「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）
 5. 「地理歴史」・「公民」において2科目選択する場合の組み合わせは、70ページ「共通テスト 地理歴史・公民2科目受験時に選択可能な組み合わせ一覧」を参照してください。

- (注3) 1. 高い学力を有し、かつ、教員になるという意志が強く、教員になる上での資質の高い学生を選抜するため、受験者全員に集団面接試験を課します。
 2. 「小論文（教育課題論文）試験」の内容は、以下のとおりです。
 教育に関する日本語の文章をはじめ絵・図・表などの読み解き、あるいはそれらに基づいた文章の作成などにより、読解力・文章作成力・論理的思考力などの教員になる上での基礎的な資質を評価します。（なお、設問によっては、一部に英文を含むこともあります。）
 3. 面接試験の結果によっては、大学入学共通テストの成績と個別テスト等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。

③配点

試験の区分	前期日程								
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	面接	小論文	合計
大学入学共通テスト	200	200 (100)	200	100 (200)	200	100	—	—	1000
個別テスト等	—	—	—	—	—	—	200	200	400
合計	200	200 (100)	200	100 (200)	200	100	200	200	1400

- (注) 1. 大学入学共通テスト「地理歴史」・「公民」及び「理科」において、「地理歴史」・「公民」の得点に採用された科目が1科目の場合、() 内の配点で計算します。
 2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。

200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算します。

【学校教員養成課程 芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注2)
前期日程 (19名) (注1)	国語 地理歴史 公民科 数学 外国語 情報	<p>「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」 } から1又は2</p> <p>「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 } (a) 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 } (a)～(d)の (b) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 } いずれか (c) 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 } 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 } (d) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 } 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」</p> <p>地理歴史・公民から2科目の場合、 理科は(a)又は(b) 地理歴史・公民から1科目の場合、 理科は(c)又は(d)</p> <p>地理歴史・公民から1科目の場合 [6教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合 [6教科8科目] 又は [7教科8科目]</p>

②個別テスト等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別テスト等の実施教科・科目		2段階選抜						
	教科	科目名等 (注3)							
前期日程 (19名) (注1)	その他	<p>集団面接試験（調査書及び自己推薦書の評価を含む）と選択した専門領域の実技検査「音楽の実技」、「美術の実技」、「体育の実技」</p> <table border="1"> <tr> <td>音楽の実技</td> <td> <p>次の1、2の試験を課す。2については29ページ「9. 教育学部の実技検査」の【実技試験の詳細】を参照のうえ、選択肢①②③の中から1つを選び、受験すること。</p> <p>1. 聴音 2声の書き取り（大譜表、8小節程度） 2. 実技試験 ① ピアノA+声楽B ② 声楽A+ピアノB ③ ピアノ以外の楽器+ピアノB+声楽B</p> </td> </tr> <tr> <td>美術の実技</td> <td> <p>次の1、2の試験を課す。</p> <p>1. 鉛筆デッサン 2. 総合的な造形</p> </td> </tr> <tr> <td>体育の実技</td> <td> <p>次の実技検査を課す。</p> <p>次の5領域から4領域を選択すること。各領域を構成する下記種目の実技検査を行い、基礎的な運動能力と技能を総合的に評価する。</p> <p>①器械運動（マット運動、鉄棒運動） ②陸上競技（短距離走、ハードル走、走り幅跳び） ③ダンス（創作ダンス） ④球技（バスケットボール、サッカー、バレーボール、バドミントン） ⑤武道（柔道）</p> <p>注）各領域で実施する種目は、全受験者共通とし、当日指定する。</p> </td> </tr> </table>	音楽の実技	<p>次の1、2の試験を課す。2については29ページ「9. 教育学部の実技検査」の【実技試験の詳細】を参照のうえ、選択肢①②③の中から1つを選び、受験すること。</p> <p>1. 聴音 2声の書き取り（大譜表、8小節程度） 2. 実技試験 ① ピアノA+声楽B ② 声楽A+ピアノB ③ ピアノ以外の楽器+ピアノB+声楽B</p>	美術の実技	<p>次の1、2の試験を課す。</p> <p>1. 鉛筆デッサン 2. 総合的な造形</p>	体育の実技	<p>次の実技検査を課す。</p> <p>次の5領域から4領域を選択すること。各領域を構成する下記種目の実技検査を行い、基礎的な運動能力と技能を総合的に評価する。</p> <p>①器械運動（マット運動、鉄棒運動） ②陸上競技（短距離走、ハードル走、走り幅跳び） ③ダンス（創作ダンス） ④球技（バスケットボール、サッカー、バレーボール、バドミントン） ⑤武道（柔道）</p> <p>注）各領域で実施する種目は、全受験者共通とし、当日指定する。</p>	実施しない
音楽の実技	<p>次の1、2の試験を課す。2については29ページ「9. 教育学部の実技検査」の【実技試験の詳細】を参照のうえ、選択肢①②③の中から1つを選び、受験すること。</p> <p>1. 聴音 2声の書き取り（大譜表、8小節程度） 2. 実技試験 ① ピアノA+声楽B ② 声楽A+ピアノB ③ ピアノ以外の楽器+ピアノB+声楽B</p>								
美術の実技	<p>次の1、2の試験を課す。</p> <p>1. 鉛筆デッサン 2. 総合的な造形</p>								
体育の実技	<p>次の実技検査を課す。</p> <p>次の5領域から4領域を選択すること。各領域を構成する下記種目の実技検査を行い、基礎的な運動能力と技能を総合的に評価する。</p> <p>①器械運動（マット運動、鉄棒運動） ②陸上競技（短距離走、ハードル走、走り幅跳び） ③ダンス（創作ダンス） ④球技（バスケットボール、サッカー、バレーボール、バドミントン） ⑤武道（柔道）</p> <p>注）各領域で実施する種目は、全受験者共通とし、当日指定する。</p>								

- (注1) 1. 各専門領域の募集人員は、「音楽専門領域」7名、「美術専門領域」5名、「保健体育専門領域」7名です。入学後は、選択した専門領域に所属し、他のコース・専門領域に進むことはできません。
2. 選抜の結果によっては、合格者数が各コース・専門領域の募集人員に満たない場合があります。

- (注2) 1. 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。
2. 「理科」で(c)を選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）の選択を認めず。
3. 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(c)又は(d)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。
4. 「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）
5. 「地理歴史」・「公民」において2科目選択する場合の組み合わせは、70ページ「共通テスト 地理歴史・公民2科目受験時に選択可能な組み合わせ一覧」を参照してください。

- (注3) 1. 高い学力を有し、かつ、教員になるという意志が強く、教員になる上での資質の高い学生を選抜するため、受験者全員に集団面接試験を課します。
2. 実技検査では、学校教員として必要となる実技能力を備えているか、評価します。実技検査の詳細については29～30ページを参照してください。
3. 面接試験の結果によっては、大学入学共通テストの成績と個別テスト等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。

③配点

試験の区分	前期日程								
	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	面接	実技	合計
大学入学共通テスト	200	200 (100)	200	100 (200)	200	100	—	—	1000
個別テスト等	—	—	—	—	—	—	200	200	400
合計	200	200 (100)	200	100 (200)	200	100	200	200	1400

- (注) 1. 大学入学共通テスト「地理歴史」・「公民」及び「理科」において、「地理歴史」・「公民」の得点に採用された科目が1科目の場合、()内の配点で計算します。
 2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

(2) 経済学部
【経済学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (145名) 内訳： 一般 125名 ディーセップ DSEP 10名 エルビーブ LBEEP 10名	国語 地理歴史 公民科 数学 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」 } から1又は2 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 (a) 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」から2 (b) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 地歴・公民から1科目の場合 [6教科8科目] 地歴・公民から2科目の場合 [6教科8科目] 又は [7教科8科目]
後期日程 (90名) 内訳： 一般 75名 ディーセップ DSEP 10名 エルビーブ LBEEP 5名	国語 地理歴史 公民科 数学 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」 } から1 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」から2 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 [6教科7科目]

②個別テスト等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別テスト等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注4)	
前期日程 (145名) 内訳： 一般 125名 ディーセップ DSEP 10名 エルビーブ LBEEP 10名	数学 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A、数学B、数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない
後期日程 (90名) 内訳： 一般 75名 ディーセップ DSEP 10名 エルビーブ LBEEP 5名	数学 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A、数学B、数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ 数学又は外国語を出願時に選択 (注5) (注6)	実施しない

- (注1) 1. 「英語」についてはリスニングを含みます。(「リスニング」の免除を許可された者を除く)
 2. 「地理歴史」、「公民」において2科目選択する場合の組み合わせは、70ページ「共通テスト 地理歴史・公民2科目受験時に選択可能な組み合わせ一覧」を参照してください。
 3. 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。

- (注2) 1. 「地理歴史」、「公民」から2科目受験し、「理科」について基礎を付した科目及び基礎を付していない科目の両方の科目を受験した場合、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
 2. 「地理歴史」、「公民」から2科目、「理科」で(c)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」、「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」、「公民」及び「理科」第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。

- (注3) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
 2. 「理科」について2科目受験した場合には第1解答科目の得点を合否判定に用います。

- (注4) 個別テストで課す数学の出題範囲
 1. 「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」については全範囲とします。
 2. 「数学A」については「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」とします。

(注5) 後期日程については「数学」又は「外国語」を出願時に選択して受験してください。

(注6) 後期日程でDSEPを志望する者については、「数学」を出願時に選択して受験してください。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学共通テスト	200	200 (100)	200	100 (200)	200	100	1000	200	100	200	100	200	100	900
個別テスト等	—	—	400	—	400	—	800	—	—	*800	—	*800	—	800

- (注) 1. 大学入学共通テスト「地理歴史」・「公民」及び「理科」において、「地理歴史」・「公民」の採用された科目が1科目の場合には、()内の配点で計算します。
 2. 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。
 3. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

4. 大学入学共通テストの合計点と個別テストの合計点をそれぞれ偏差値に換算し、1対1の比率で合計します。大学入学共通テストの偏差値は、個別テスト受験者全体のものとします。

(3) 経営学部
【経営学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (158名) 内訳： 一般 148名 DSEP 10名	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」 } から1 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」
後期日程 (82名) 内訳： 一般 78名 DSEP 4名	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」 } から1 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」

②個別テスト等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別テスト等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注2)	
前期日程 (158名) 内訳： 一般 148名 DSEP 10名	数学 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A、数学B、数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ 数学又は外国語を出願時に選択 (注3) (注4)	実施しない
後期日程 (82名) 内訳： 一般 78名 DSEP 4名	数学 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A、数学B、数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない

- (注1) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2. 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。
3. 「理科」について基礎を付した科目及び基礎を付していない科目の両方の科目を受験した場合、又は、基礎を付していない科目を2科目受験した場合には、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
4. 「英語」についてはリスニングを含みます。「リスニング」の免除を許可された者を除く。

- (注2) 個別テストで課す数学の出題範囲
1. 「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」については全範囲とします。
2. 「数学A」については「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」とします。

(注3) 前期日程については「数学」又は「外国語」を出願時に選択して受験してください。

(注4) 前期日程でDSEPを志望する者については、「数学」を出願時に選択して受験してください。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学 共通テスト	200	100	200	100	200	100	900	100	50	100	50	100	50	450
個別テスト等	—	—	*450	—	*450	—	450	—	—	225	—	225	—	450
合計	—	—	—	—	—	—	—	100	50	325	50	325	50	900

- (注) 1. 大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。
 2. 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。
 3. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディングとリスニングの配点比率を4対1として、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4
 後期日程：100点満点（リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4）×0.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では、100点満点に換算します。

4. 前期日程では大学入学共通テストの合計点と個別テストの合計点をそれぞれ偏差値に換算し、2対1の比率で合計します。大学入学共通テストの偏差値は、個別テスト受験者全体のものとします。
 5. 後期日程では大学入学共通テストと個別テスト等の成績を1対1の比率に換算します。

(4) 理工学部
【機械・材料・海洋系学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (91名) 機械工学E P 材料工学E P 海洋空間の システムデザインE P	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「物理」、「化学」 「英語」 「情報Ⅰ」
後期日程 (74名) 機械工学E P 材料工学E P 海洋空間の システムデザインE P	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「物理」、「化学」 「英語」 「情報Ⅰ」

②個別テスト等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等 (注2)	2段階選抜
前期日程 (91名) 機械工学E P 材料工学E P 海洋空間の システムデザインE P	数 学 理 科 外 国 語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない
後期日程 (74名) 機械工学E P 材料工学E P 海洋空間の システムデザインE P	数 学 理 科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学	実施しない

(注1) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2. 「英語」についてはリスニングを含みます。「リスニング」の免除を許可された者を除く。

(注2) 個別テストの出題範囲
1. 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学Ⅲ」については全範囲とします。
2. 「数学A」については、「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。
3. 「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
4. 「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	100	1000	100	50	100	100	300	50	700
個別テスト等	—	—	450	450	300	—	1200	—	—	450	450	—	—	900
合計	200	100	650	650	500	100	2200	100	50	550	550	300	50	1600

(注) 1. 大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。
2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合の配点、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4
後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4) ×1.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

【化学・生命系学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注2)
前期日程 (86名) 化学E P 化学応用E P バイオE P (注1)	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「物理」、「化学」、「生物」から2 「英語」 「情報Ⅰ」
後期日程 (66名) 化学E P 化学応用E P バイオE P (注1)	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「物理」、「化学」、「生物」から2 「英語」 「情報Ⅰ」

②個別テスト等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別テスト等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注3)	
前期日程 (86名) 化学E P 化学応用E P バイオE P (注1)	数学 理科 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない
後期日程 (66名) 化学E P 化学応用E P バイオE P (注1)	数学 理科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学	実施しない

(注1) 学生募集は教育プログラムを分けずに行い、教育プログラムの決定は、第2学年進級時に本人の希望と科目履修状況に基づいて行います。

(注2) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2. 「英語」についてはリスニングを含みます。「リスニング」の免除を許可された者を除く。

(注3) 個別テストの出題範囲

- 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学Ⅲ」については全範囲とします。
- 「数学A」については、「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。
- 「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	100	1000	100	50	100	100	300	50	700
個別テスト等	—	—	450	450	300	—	1200	—	—	450	450	—	—	900
合計	200	100	650	650	500	100	2200	100	50	550	550	300	50	1600

- (注) 1. 大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。
2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合の配点、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4
後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4) ×1.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

【数物・電子情報系学科】

① 大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (185名) 数理学E P 物理工学E P 電子情報システムE P 情報工学E P	国語 地理歴史 公民学 数学 理科 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「物理」、「化学」 「英語」 「情報Ⅰ」
後期日程 (107名) 数理学E P 物理工学E P 電子情報システムE P 情報工学E P	国語 地理歴史 公民学 数学 理科 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「物理」、「化学」 「英語」 「情報Ⅰ」

② 個別テスト等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別テスト等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注2)	
前期日程 (185名) 数理学E P 物理工学E P 電子情報システムE P 情報工学E P	数学 理科 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない
後期日程 (107名) 数理学E P 物理工学E P 電子情報システムE P 情報工学E P	数学 理科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学	実施しない

(注1) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2. 「英語」についてはリスニングを含みます。「リスニング」の免除を許可された者を除く。

(注2) 個別テストの出題範囲

- 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学Ⅲ」については全範囲とします。
- 「数学A」については、「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。
- 「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

③ 配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	100	1000	100	50	100	100	300	50	700
個別テスト等	—	—	450	450	300	—	1200	—	—	450	450	—	—	900
合計	200	100	650	650	500	100	2200	100	50	550	550	300	50	1600

(注) 1. 大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。
2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合の配点、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4
後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4) ×1.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

(5) 都市科学部

【都市社会共生学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目		
	教科	科目名等 (注1)	
前期日程 (30名)	国語 数学 外国語 地理歴史 公民 理科 情報	「国語」 「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 (a) 「地理総合, 地理探究」、「歴史総合, 日本史探究」、 「歴史総合, 世界史探究」から1 (b) 「公共, 倫理」、「公共, 政治・経済」から1 (c) 「地理総合／歴史総合／公共」から2 (d) 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 (e) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (f) 「情報Ⅰ」	(注2) (a)～(c)の中から 1又は2 (注2) (d)～(e)の中から 1又は2 (注2) (a)～(f)の中から3 情報を利用する場合〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕 情報を利用しない場合〔5教科7科目〕又は〔6教科7科目〕
後期日程 (8名)	国語 数学 外国語 地理歴史 公民 理科 情報	「国語」 「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 (a) 「地理総合, 地理探究」、「歴史総合, 日本史探究」、 「歴史総合, 世界史探究」から1 (b) 「公共, 倫理」、「公共, 政治・経済」から1 (c) 「地理総合／歴史総合／公共」から2 (d) 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 (e) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (f) 「情報Ⅰ」	(注2) (a)～(c)の中から 1又は2 (注2) (d)～(e)の中から 1又は2 (注2) (a)～(f)の中から3 情報を利用する場合〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕 情報を利用しない場合〔5教科7科目〕又は〔6教科7科目〕

②個別テスト等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別テスト等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等	
前期日程 (30名)	その他	小論文 (注3)	実施しない
後期日程 (8名)	その他	面接試験 (注4)	実施しない

- (注1) 1. 「地理歴史」・「公民」において2科目選択する場合の組み合わせは、70ページ「共通テスト 地理歴史・公民2科目受験時に選択可能な組み合わせ一覧」を参照してください。
 2. 「理科」で基礎を付した科目及び基礎を付していない科目の両方を受験する場合、同一名称を付した科目(例:「物理基礎」と「物理」など)を選択することはできません。
 3. 「英語」についてはリスニングを含みます。(「リスニング」の免除を許可された者を除く。)

- (注2) 1. 「地理総合／歴史総合／公共」及び「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。
 2. 可否判定には、まず「地理歴史」・「公民」の第1解答科目、「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残り1科目は、「地理歴史」・「公民」の第2解答科目、「理科」の第2解答科目、「情報」のうち得点の高い科目の得点を採用します。

(注3) 「小論文」の内容は、以下のとおりです。
 都市社会共生学科：これからの都市を様々に構想することを背景におきながら、共生社会と多様性のあり方、文化や芸術の可能性、グローバルとローカルの接合などに関連して提示された人文社会領域の素材について、内容把握の読解力、問題点を解決するための発想力、考えを表現するための論理的思考力や表現力を評価します。

(注4) 自己推薦書及び他の提出書類を参考にし、面接に際して課題文を読ませるなどして、複数の面接員による個人面接試験を行い、問題点を解決するための発想力、考えを表現するための論理的思考力や表現力などを総合的に評価します。

③配点

試験の 区分	前期日程								後期日程							
	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	合計	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	面接	合計
大学入学 共通テスト	200	100	200	100	200	—	—	900	200	100	200	100	200	—	—	900
	—	*100	—	*100	—	*100	—		—	*100	—	*100	—	*100	—	
個別テスト等	—	—	—	—	—	—	500	500	—	—	—	—	—	—	200	200
合計	200	100 (200)	200	100 (200)	200	[100]	500	1400	200	100 (200)	200	100 (200)	200	[100]	200	1100

- (注) 1. 配点に*印を付してある得点は選択教科を表します。
 2. 大学入学共通テスト「地理歴史」・「公民」の第2解答科目が採用された場合には（ ）内の配点、「理科」の第2解答科目が採用された場合には〈 〉内の配点、「情報」が採用された場合には[]内の配点で計算します。
 3. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点はそのまま英語の得点として利用します。
 なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

【建築学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (40名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」 } から1 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」
後期日程 (19名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」 } から1 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」

[6教科8科目]

②個別テスト等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別テスト等の実施教科・科目		
	教科	科目名等 (注2)	2段階選抜
前期日程 (40名)	数 学 理 科 外 国 語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない
後期日程 (19名)	数 学 理 科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学	実施しない

- (注1)** 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2. 「英語」についてはリスニングを含みます。「リスニング」の免除を許可された者を除く。

(注2) 個別テストの出題範囲

- 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学Ⅲ」については全範囲とします。
- 「数学A」については、「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。
- 「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	100	1000	100	50	100	100	300	50	700
個別テスト等	—	—	450	450	300	—	1200	—	—	450	450	—	—	900
合計	200	100	650	650	500	100	2200	100	50	550	550	300	50	1600

(注) 1. 大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。

後期日程 英語以外の外国語： 300点満点 200点×1.5

- 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4

後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4) ×1.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

【都市基盤学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (18名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」 } から1 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 [6教科8科目]
後期日程 (12名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」 } から1 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 [6教科8科目]

②個別テスト等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別テスト等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注2)	
前期日程 (18名)	数 学 理 科 外 国 語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない
後期日程 (12名)	数 学 理 科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 物理基礎・物理 化学基礎・化学	実施しない

- 【注1】 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2. 「英語」についてはリスニングを含みます。「リスニング」の免除を許可された者を除く。

【注2】 個別テストの出題範囲

- 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学Ⅲ」については全範囲とします。
- 「数学A」については、「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。
- 「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	100	1000	100	50	100	100	300	50	700
個別テスト等	—	—	450	450	300	—	1200	—	—	450	450	—	—	900
合計	200	100	650	650	500	100	2200	100	50	550	550	300	50	1600

(注) 1. 大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。

後期日程 英語以外の外国語：300点満点 200点×1.5

- 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4

後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4) ×1.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

【環境リスク共生学科】

①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (33名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」 } から1 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 [6教科8科目]
後期日程 (10名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語 情報	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」 } から1 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 [6教科8科目]

②個別テスト等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別テスト等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注2)	
前期日程 (33名)	数学 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	実施しない
後期日程 (10名)	数学 その他	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C 小論文 (注3)	実施しない

- (注1) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
2. 「英語」についてはリスニングを含みます。「リスニング」の免除を許可された者を除く。

(注2) 個別テストの出題範囲

1. 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学Ⅲ」については全範囲とします。
2. 「数学A」については、「図形の性質」と「場合の数と確率」、「数学B」については「数列」、「数学C」については「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。

(注3)

「小論文」の内容は、以下のとおりです。
環境リスク共生学科：自然環境や生態環境、社会環境の様々なリスクに関連して提示された素材に関し、内容把握の読解力、問題点を解決するための発想力、考えを表現するための論理的思考力や表現力を評価します。

③配点

試験の区分	前期日程							後期日程							
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	650	200	100	1450	100	250	100	350	300	50	—	1150
個別テスト等	—	—	450	—	300	—	750	—	—	450	—	—	—	200	650
合計	200	100	650	650	500	100	2200	100	250	550	350	300	50	200	1800

- (注) 1. 大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。

後期日程 英語以外の外国語： 300点満点 200点 × 1.5

2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4

後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4) × 1.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

9. 教育学部の実技検査

【学校教員養成課程 芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）】（前期日程）

音 楽	<p>次の1、2の試験を課す。2については下記【実技試験の詳細】を参照のうえ、選択肢①②③の中から1つを選び、受験すること。</p> <p>1. 聴音 2声の書き取り（大譜表、8小節程度）</p> <p>2. 実技試験</p> <p>① ピアノA+声楽B ② 声楽A+ピアノB ③ ピアノ以外の楽器+ピアノB+声楽B</p> <p>【実技試験の詳細】</p> <p>◆ピアノA W.A. モーツァルトのピアノ・ソナタの中から任意の1曲を選択し（K. 282を除く）、第1楽章を暗譜で演奏する（繰り返しは省略）。 注）ピアノ・ソナタ集（W.A. モーツァルト）には、「幻想曲」ハ短調K. 475が収録されているが、K. 282と同様に選択肢から除外する。</p> <p>◆ピアノB J.S. バッハ：「インヴェンション2声」の中から任意の1曲を演奏する（視奏も可）。</p> <p>◆声楽A 次の曲の中から任意の1曲を選び、原語の歌詞、暗譜で歌う。調は（ ）内に指定したものから選ぶこと。 T. Giordani : Caro mio ben（ハ長調、変ホ長調、ヘ長調） L. Mancina（伝S. Rosa） : Star vicino（ト長調、イ長調、変ロ長調）</p> <p>◆声楽B 「コンコーネ50番 Op. 9」の第16番を歌う。 注1）移動ド、固定ド、もしくは母音による視唱とする。 注2）低声・中声・高声用（調性は全音楽譜出版社の楽譜を参照）のいずれかを各自が選択すること。</p> <p>◆ピアノ以外の楽器（電子楽器を除く） 5分程度の任意の1曲を演奏する（暗譜または視奏、伴奏は無し）。 注）入学後の器楽指導はピアノが中心となる。</p> <p>※ 筆記用具、昼食、上履きを持参すること。</p>
美 術	<p>次の1、2の試験を課す。</p> <p>1. 鉛筆デッサン（B3画用紙に人物デッサン。2時間） * 鉛筆デッサンに必要な用具を持参すること。</p> <p>2. 総合的な造形（抽象形体と具象形体による立体造形。2時間） テーマ：紙粘土による幾何形体と野菜や果実を配した立体造形（野菜や果実のみ彩色を施す） * 着色用具一式（アクリル絵の具、パレット、筆、筆洗、雑巾）を持参すること。</p> <p>※ 昼食を持参すること。</p>

体 育	<p>次の実技検査を課す。</p> <p>次の5領域から4領域を選択すること。各領域を構成する下記種目の実技検査を行い、基礎的な運動能力と技能を総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 器械運動（マット運動、鉄棒運動） ② 陸上競技（短距離走、ハードル走、走り幅跳び） ③ ダンス（創作ダンス） ④ 球技（バスケットボール、サッカー、バレーボール、バドミントン） ⑤ 武道（柔道） <p>注1) 各領域で実施する種目は、全受験者共通とし、当日指定する。</p> <p>注2) 運動着および運動靴（体育館用並びに屋外用）を用意すること。なお、武道を選択する者は柔道着も用意すること。</p> <p>注3) 運動着の前後にゼッケン（20cm×20cmの白布に受験番号を黒書したもの）を縫い付けること。安全ピンの使用は禁止する。ただし、柔道着のゼッケンは背中だけで良い。</p> <p>※ 昼食を持参すること。</p>
--------	---

10. 欠員の補充等

入学手続締切期日後に入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、原則として追加合格により欠員補充を行います。また、必要がある場合には欠員補充第2次募集を行います。

11. 一般選抜に係る入試情報開示

横浜国立大学では、入試情報の開示を次のとおり行います。

(1) 入試問題の正解・解答例等の情報開示

①入試問題（面接・実技を除く）の正解・解答例または出題意図（合格者発表後に概ね14日間程度開示します。）

横浜国立大学>入試情報>学部入試>入試の情報開示

<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/public/index.html>

②合格者の最高点、最低点、平均点（令和9年（2027年）4月中旬に開示します。）

ただし、合格者が5人未満の場合は開示しません。

注）経済学部前期日程、後期日程及び経営学部前期日程については、偏差値の合計を併記します。

横浜国立大学>入試情報>学部入試>過去の入試データ

<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/enforce/index.html>

(2) 入試個人成績の情報開示

一般選抜の受験者についてのみ、総合点（大学入学共通テスト及び個別テスト等の合計）及び調査書記載事項の学習成績の状況及び学習成績を開示します。経済学部の前期日程、後期日程及び経営学部の前期日程については、偏差値の合計で開示します。

詳細は令和9年度（2027年度）一般選抜学生募集要項に掲載します。

12. 個別の入学資格審査により出願する場合の手続

2. 出願資格（7ページ）のうち、(4)に基づき出願する場合は、本学への出願前に必ず個別の入学資格審査を申請し、認定を受けてください。（出願資格（1）～（3）により出願する場合は、この手続を行う必要はありません。）

(1) 入学資格認定申請書の入手方法

本学ウェブサイト (<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/qualification.html>) から、入学資格認定申請書（本学所定様式）をダウンロードおよび印刷してください。

(2) 審査要件（①～③いずれにも該当することが必要です。）

①専修学校、各種学校その他の教育施設（学校教育法第1条に掲げるものを除く。）において3年以上の学習歴があり、おおむね74単位（2,590単位時間）相当以上（平成11年度以前の入学者にあつては80単位（2,800単位時間）相当以上。単位（単位時間）については、高等学校学習指導要領による。）修得している者又は令和9年（2027年）3月修得見込みの者。

②前号の単位（単位時間）には、おおむね国語（相当する教科を含む。以下の各教科において同じ。）、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の5教科の単位（単位時間）を含んでいること。

③18歳に達したもの及び令和9年（2027年）3月31日までに18歳に達するもの。

(3) 申請期間

(第1回申請期間)

郵送受付：令和8年（2026年）8月 3日（月）～8月21日（金）【必着】書留速達郵便に限る

窓口受付：令和8年（2026年）8月20日（木）・8月21日（金）

8：30～12：45及び13：45～17：00

※8月12日（水）～8月18日（火）は大学の休業日（休業期間）です。

(第2回申請期間)

郵送受付：令和9年（2027年）1月15日（金）～1月19日（火）【必着】書留速達郵便に限る

窓口受付：令和9年（2027年）1月18日（月）～1月19日（火）

8：30～12：45及び13：45～17：00

(第3回申請期間)

窓口受付のみ：令和9年（2027年）1月25日（月）17時までに本学学務・国際戦略部入試課に申し出ること。

※対象は大学入学共通テスト追試験受験者のみ。

※大学入学共通テスト追試験許可書を提示すること。

(4) 提出書類

①入学資格認定申請書（本学所定様式）

②調査書（各教科・科目の学習記録等が含まれているもの。）又は、最終出身学校等の卒業（見込）証明書及び成績証明書

③出身学校等のカリキュラム表等、教育課程が確認できる書類

④返信用封筒（長形3号。申請者氏名・住所を明記し、760円分の切手を貼付してください。）

(5) 本学所定様式の請求先および提出書類の送付先

横浜国立大学学務・国際戦略部入試課

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-8 （TEL. 045-339-3121）

IV 特別選抜

1. 総合型選抜

(1) 教育学部

実施学部 学科名等	教育学部 学校教員養成課程				
募集人員	100名 (内訳)				
		コース	専門領域	専門領域枠	地域教員希望枠
	言語・文化・社会系教育コース		国語	4名	36名
			社会	4名	
			英語	4名	
			日本語教育	3名	
			教育学	4名	
	自然・生活系教育コース		数学	4名	
			理科	4名	
			技術	6名	
		家庭科	6名		
芸術・身体・発達支援系教育コース		音楽	4名		
		美術	6名		
		保健体育	4名		
		心理学	5名		
	特別支援教育	6名			
合計			64名	36名	
	<p>注1: [専門領域枠]で出願できるコース・専門領域は1つに限ります。</p> <p>注2: [地域教員希望枠]と[専門領域枠]の併願が可能です。併願する場合は、それぞれについての入学検定料が必要になります。</p> <p>注3: [地域教員希望枠]と[専門領域枠]を併願し、[地域教員希望枠]で合格した者は、[専門領域枠]については合否対象から除外します。</p> <p>注4: [専門領域枠]の合格者として入学した者は、入学後にコース・専門領域を変更できません。[地域教員希望枠]の合格者として入学した者は、入学後第1学年の10月頃までにコース・専門領域を決定します。この決定は、[専門領域枠]の併願の有無や[専門領域枠]で出願したコース・専門領域にかかわらず、本人の希望及び入学後の学修状況を基に行います。ただし、特定のコース・専門領域を多数の者が希望した時には選考試験を行います。</p> <p>注5: 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。入学手続き者が募集人員に満たなかった場合には、一般選抜前期日程の合格者で補充します。</p>				
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～2のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年(2027年)3月までに卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年(2027年)3月までに修了見込みの者 <p>【要件】 共通: 次の1～4を全て満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童・生徒の育成に熱意を持つ者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 3. 合格した場合には、本学に入学することを確約できる者 4. 小・中・特別支援学校等の教員就職を希望する者 <p>[地域教員希望枠]の志願者のみ: 1～4を全て満たし、かつ、次の5及び6を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 神奈川県内の教員就職を希望する者(出身地は問わない) 6. 高大接続活動として、本学教育学部の開講する「YNU 教職セミナー」(教育学部開講の旧高校生授業等体験プログラム及び旧公開講座を含む)又は神奈川県内の教育委員会が開講する「教職セミナー」等に参加し、受講したことを証明する書類を提出できる者、あるいは、神奈川県内の 				

	<p>高等学校若しくは中等教育学校(後期課程)において「教職コース」等を履修し、単位を修得した者</p> <p>[専門領域枠]の志願者のみ: 1～4を全て満たし、かつ、次の7を満たす者 7. 高大接続活動として、全国の教員養成系大学・学部や教育委員会が開講する「教職セミナー」等に参加し、受講したことを証明する書類を提出できる者、あるいは、全国の高等学校若しくは中等教育学校(後期課程)等において「教職コース」等を履修し、単位を修得した者</p> <p>さらに、[専門領域枠]の英語、美術、保健体育の各専門領域の志願者は次の8も満たすこと。 8. 専門領域が求める以下の提出書類等の要件を満たす者 英語専門領域: 出願時前2年以内の外部試験の合格証明書又はスコア証明書等を提出できる者。 美術専門領域: 本人が高等学校若しくは中等教育学校(後期課程)等在学中に授業等で制作した美術作品又は本人が企画運営等を行った美術活動等に関する資料を提出できる者。 保健体育専門領域: 高等学校等入学若しくは中等教育学校(後期課程)進級以降にスポーツ、武道、ダンスのいずれかで成果を上げた者。なお、都道府県大会以上の大会に出場した経験のある場合は、それを証明する資料のコピーを提出すること。</p>
<p>選抜方法</p>	<p>入学者の選抜は[地域教員希望枠]・[専門領域枠]とも第1次選抜と第2次選抜を行います。</p> <p>【第1次選抜】 出願書類の審査、高大接続活動に関する評価、及び小論文試験により総合的に評価して、第1次選抜合格者を決定します。小論文試験は、学校教育をめぐる今日的課題に取り組む力を問う出題とします。</p> <p>【第2次選抜】 ア. 第1次選抜合格者に対し、提出書類の内容を基に、複数の面接員による個人面接を行います。小・中・特別支援学校等の教員を志す者として、教育に対する情熱やコミュニケーション能力を有するかを総合的に評価し、最終合格者を決定します。ただし、[専門領域枠]のうち、英語、音楽、保健体育の各専門領域の志願者については、以下に示す評価対象が追加されます。 ・英語専門領域: 面接時の英語の運用能力 ・音楽専門領域: 聴音[2声の書き取り(大譜表、8小節程度)]の実技能力 ・保健体育専門領域: 提出された資料に基づくスポーツ、ダンス、武道のいずれかの成果 イ. [専門領域枠]のうち、次の専門領域の志願者は、面接において以下の点に留意すること。 ・社会専門領域: 指定文献に関する内容について質疑を追加して行います。 ・英語専門領域: 面接の一部を英語で行います。 ・数学専門領域: 子供たちが学ぶ算数・数学に関する事項についての質疑を追加して行います。 ウ. 本選抜では、大学入学共通テストは課しません。個別テストも行いません。第2次選抜合格者が最終合格者となります。 エ. 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。入学手続き者が募集人員に満たなかった場合には、一般選抜前期日程の合格者で補充します。</p>
<p>出願期間</p>	<p>令和8年(2026年)9月24日(木)～令和8年(2026年)9月30日(水)【郵送、必着】</p>
<p>選抜期日</p>	<p>第1次選抜期日 : 令和8年(2026年)10月24日(土) 第2次選抜期日 : 令和8年(2026年)11月21日(土)</p>
<p>合格者発表日</p>	<p>第1次選抜合格者発表 : 令和8年(2026年)11月4日(水) 第2次選抜合格者(最終合格者)発表 : 令和8年(2026年)12月1日(火)</p>
<p>その他</p>	<p>・学校教員養成課程における修学上の留意事項については、本学のウェブサイトを確認してください。 https://www.edu.ynu.ac.jp/campus/attention/ ・TOEIC 公開テストのデジタル公式認定証の取扱いについては、募集要項で確認してください。 ・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。</p>

出願に要する書類等： 自己推薦書、高大接続活動記録・高大接続活動記録補足資料、高大接続活動に関する課題レポート、専門領域別に必要となる出願書類〔専門領域枠〕	
自己推薦書	<p>本学部所定の様式を用いて、以下のア・イ・ウの3点について 1,000 字以内で分かりやすく記述してください。志願者本人が自分で内容を考えて手書きした文章であること。指導者及び生成AI等が作成した文章の一部又は全部を使用することを禁じます。</p> <p>〔地域教員希望枠〕</p> <p>ア. 神奈川県内の教職を目指す理由 イ. 教職を目指すあなたの特筆すべき資質や適性 ウ. 神奈川県内の地域における教育課題に取り組むために、これまでに学習してきたこと、入学後に特に学びを深めたいこと</p> <p>〔専門領域枠〕</p> <p>ア. 志願する専門領域において教職を目指す理由 イ. 教職を目指すあなたの特筆すべき資質や適性 ウ. 志願する専門領域に関して、これまでに学習してきたこと、入学後に特に学びを深めたいこと</p>
高大接続活動記録・高大接続活動記録補足資料	<p>以下のア・イ・ウのうち、教職を目指すためにこれまで行ってきた高大接続活動の内容を、本学部所定の様式を用いて記述し、加えてそれを証明する資料をA4判の用紙にコピーし、資料番号を書き込んだうえで添付してください。</p> <p>〔地域教員希望枠〕</p> <p>ア. 本学教育学部の開講する「YNU 教職セミナー」(旧高校生授業等体験プログラム及び旧公開講座を含む)への参加 イ. 神奈川県内の教育委員会が開講する「教職セミナー」等への参加 ウ. 神奈川県内の高等学校若しくは中等教育学校(後期課程)における「教職コース」等の履修</p> <p>〔専門領域枠〕</p> <p>ア. 教員養成系大学・学部が開講する「教職セミナー」等への参加 イ. 教育委員会が開講する「教職セミナー」等への参加 ウ. 高等学校若しくは中等教育学校(後期課程)等における「教職コース」等の履修</p>
高大接続活動に関する課題レポート	<p>本学部所定の様式を用いて、以下のアについて 500 字以内で、イについて 1,000 字以内で分かりやすく記述してください。志願者本人が自分で内容を考えて手書きした文章であること。指導者及び生成AI等が作成した文章の一部又は全部を使用することを禁じます。</p> <p>〔地域教員希望枠〕</p> <p>ア. これまでに参加した高大接続活動の中で、教職を目指すにあたって最も印象に残った講座の具体的な内容 イ. これまでに参加した高大接続活動に基づいて考えた、地域に根ざした教員に求められる具体的な役割</p> <p>〔専門領域枠〕</p> <p>ア. これまでに参加した高大接続活動の中で、教職を目指すにあたって最も印象に残った講座(志願する専門領域に関わる内容のものがあればそれが望ましい)の具体的な内容 イ. これまでに参加した高大接続活動に基づいて考えた、志願する専門分野を学んだ教員が教育活動の中で果たすべき役割</p>
専門領域別に必要となる出願書類〔専門領域枠〕	<p>ア. 美術専門領域</p> <ol style="list-style-type: none"> 活動証明書(本学部所定様式。学校長、記載責任者の押印が必要) 志願者本人による以下の①②のいずれか若しくは両方をファイル一冊にまとめたもの <ol style="list-style-type: none"> 高等学校若しくは中等教育学校(後期課程)等在学中に本人が制作した3点以上の美術作品(授業作品も可)を撮影した写真を提出すること。写真は作品毎に撮影しそれぞれA4判に印刷したもの 高等学校若しくは中等教育学校(後期課程)等在学中に本人が企画運営等行った美術活動に関する資料 <p>注1: 本人が制作した美術作品や、美術に関する実践活動、美術展のサポーター等広い意味での表現活動(美術、映像、企画運営等)の資料等であり、学校内外、入賞等の有無、既発表・未発表は問いません。</p> <p>注2: 提出されたbのファイルは返却しません。</p> <p>イ. 家庭科専門領域</p> <ol style="list-style-type: none"> 高等学校若しくは中等教育学校(後期課程)等在学中に家庭科に関連する研究やホームプロジェクトに取り組んだ者は、その内容がわかる資料(A4判で様式任意、字数制限なし) 高等学校等入学若しくは中等教育学校(後期課程)進級以降に家庭科に関連する資格(技術検定など)を取得している者は、それを証明するもの(A4判のコピー1部、白黒でも可) <p>注: 提出されたa及びbの資料は返却しません。</p> <p>ウ. 英語専門領域</p> <ol style="list-style-type: none"> 出願時前2年以内の外部試験の合格証明書又はスコア証明書等{英検〔従来型、S-CBT〕、TOEFL〔iBT(Home Edition)を含む〕、ITP(団体向けテストプログラム)}、TOEIC〔公開テスト、IP(団体特別受験制度)〕、IELTS(Academic Module)※IELTS Onlineを含む、GTEC(4技能)の

- いずれか1つ。}具体的には「外部試験の合格証明書及びスコア証明書対応表」を参照のこと。
- b. 高等学校若しくは中等教育学校(後期課程)等在学中に学校内外で行った英語に関する活動(海外研修・英語ディベート入賞等)経験がある場合はその証明書(様式は任意、学校長の押印が必要)。
- 注1:合格証明書又はスコア証明書の原本1部は、A4判のクリアファイルに入れて提出してください。書留で郵送により返却しますので、送付先を記載し、送料分(書留料金分)の切手を貼付した返信用封筒を同封してください。
- 注2:コピー1部は、A4判の用紙で用意してください。白黒でも可。
- 注3:合格証明書又はスコア証明書は発行に時間がかかることがあります(詳細は、発行機関に問い合わせてください)。早めに準備を開始してください。なお、出願期間内に合格証明書又はスコア証明書が提出されなかった場合は、出願を無効として出願書類を返却することがありますので十分注意してください。

外部試験の合格証明書及びスコア証明書対応表

対象の英語外部試験	提出書類
英検(従来型、S-CBT)	合格証明書又は英検 CSE スコア証明書の原本と、そのコピー1部。 また、デジタル合格証明書又はデジタル英検 CSE スコア証明書を利用する場合は、入学願書に書かれた「フリガナ」と同じく入学願書の備考欄「*英語専門領域 特記事項」に書かれた「デジタル証明書共有キー」を利用して閲覧・検証しますので間違いのないよう英数字等を丁寧に記入してください。
TOEFL-iBT [Home Edition を含む]	以下3点の書類を提出してください。 ① 試験実施機関(ETS)から横浜国立大学に送信される TOEFL iBT の Institutional Score Report (ETS へ送信手続きをする必要があります) ② ETS に本学への Institutional Score Report 送信手続きをしたことが確認できる記録(メール画面等)の写し ③ 受験者本人へ送信されるスコア(Test Taker Score Report)の写し ※ETS から Institutional Score Report を本学へ直送する際の DI コード番号は 0410 です。 ※送信申請から大学が受信までに期間を要するので、出願期間内に必着するよう早めに手続きをしてください。 出願締切までに Institutional Score Report を受信できない場合は出願を受理しないことがあります。 ※TOEFL iBT の Test Date スコアのみを利用いたします。My Best スコアは活用しません。 ※出願時前2年以内であれば、旧形式の TOEFL iBT も有効です。
TOEFL-ITP (団体向けテストプログラム)	Score Report のA4判のコピーの余白部分に出身学校(団体受験実施校)の公印を受けたもの(これを「原本」として扱う)と、そのコピー1部
TOEIC 公開テスト	Official Score Certificate の原本と、そのコピー1部 ※TOEIC L&R の受験結果「Official Score Certificate」(公式認定証)の原本。また、日本で受験した場合は、TOEIC L&R の受験結果「QR コード付きデジタル公式認定証」の提出も認めます。デジタル公式認定証に表示されている QR コードを用いてその真正性を確認します。TOEIC デジタル公式認定証をプリントアウトして提出してください。
TOEIC-IP (団体特別受験制度)	Score Report のA4判のコピーの余白部分に出身学校(団体受験実施校)の公印を受けたもの(これを「原本」として扱う)と、そのコピー1部
IELTS(Academic Module) ※IELTS Online を含む	Test Report Form の原本と、そのコピー1部
GTEC(4技能)	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE(4技能)の原本とそのコピー1部

エ. 保健体育専門領域:

競技歴証明書(本学部所定様式。記載責任者の押印が必要)及び競技歴証明資料(本学部所定様式)。高等学校等入学若しくは中等教育学校(後期課程)進級以降に保健体育専門領域に関する実績や受賞歴等があれば競技歴証明書に記入し、それを証明する資料のコピーを競技歴証明資料に添付してください。団体競技の場合は、志願者が競技に参加したことを証明できるものを添付すること。都道府県大会以上の大会への出場がある場合は、それを証明する資料のコピーを添付してください。学校教職員等が記載責任者となること。

(2) 経済学部

実施学部 学科名等	経済学部 経済学科																
募集人員	一般プログラム :15名																
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年(2027年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年(2027年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年(2027年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの及び令和9年(2027年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 以下の1～3のすべてを満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学することを確約できる者 2. 令和9年度(2027年度)大学入学共通テストにおいて本学部が指定する教科・科目を受験する者 3. 以下の外部英語試験のうち、いずれか1つ以上を受験し出願期間内に成績証明書等を提出できる者 <p>ただし、いずれの外部英語試験も出願開始日から遡って2年以内を受験した試験のスコアのみを受け付けます。なお、TOEFL iBTのスコアは本学に直送されたもの、GTEC(4技能)はOFFICIAL SCORE CERTIFICATEの原本のみを受け付けます。他の外部英語試験のスコアは原本のみを受け付けます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定(英検) ・TOEIC L&R ・TOEFL iBT(Home Edition を含みます。Test Date スコアを採用します。) ・IELTS(Academic Module)※IELTS Online を含みます。 ・GTEC(4技能)(アセスメント版及びアセスメント Digital は受け付けられません) </div>																
選抜方法	<p>入学者選抜は、第1次選抜、第2次選抜及び最終選抜の3段階で行います。</p> <p>【第1次選抜】 志願者が募集人員の2倍を超えた場合は、書類(英語スコア)により選抜を行います。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、自己推薦書及び他の提出書類により複数の面接員による個人面接試験を行い、熱意と適性を総合的に判断します。</p> <p>【最終選抜】 第2次選抜合格者に対し、大学入学共通テストを課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>国 語 「国語」 数 学 「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」 外国語 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1</p> <p style="text-align: right;">〔3教科4科目〕</p> </div> <p>注1:「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングの免除を許可された者を除く。)</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史 ・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>情報</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般プログラム</td> <td>200</td> <td>—</td> <td>400</td> <td>—</td> <td>300</td> <td>—</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>注2:大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。 数学 :400点満点 200点×2</p>	教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	一般プログラム	200	—	400	—	300	—	900
教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	合計										
一般プログラム	200	—	400	—	300	—	900										

	<p>英語以外の外国語:300点満点 200点×1.5</p> <p>注3:大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100点満点とリスニング 100点満点を以下のおり換算します。</p> <p>300点満点 (リーディング 100点×1.6+リスニング 100点×0.4)×1.5</p> <p>なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100点満点を 300点満点に換算します。</p>
出願期間	令和8年(2026年)9月1日(火)～令和8年(2026年)9月4日(金)【郵送、必着】
選抜期日	<p>第1次選抜期日 :書類選抜</p> <p>第2次選抜期日 :令和8年(2026年)11月16日(月)</p>
合格者発表日	<p>第1次選抜合格者発表:令和8年(2026年)10月 9日(金)</p> <p>第2次選抜合格者発表:令和8年(2026年)12月17日(木)</p> <p>最終合格者発表:令和9年(2027年) 2月10日(水)</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC 公開テストのデジタル公式認定証の取扱いについては、募集要項で確認してください。 ・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。

(3) 理工学部

実施学部 学科名等	理工学部 機械・材料・海洋系学科 材料工学教育プログラム																			
募集人員	8名																			
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年(2027年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年(2027年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年(2027年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの及び令和9年(2027年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 令和8年度(2026年度)大学入学共通テストにおいて学科・教育プログラムの指定する教科・科目のすべてを受験する者 																			
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類審査とします。以下の書類により、材料工学教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書(本学様式) 材料工学教育プログラムに対する熱意を600字程度で、当プログラムを学んだ後の将来の夢を600字程度で自己推薦してください。図表を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図表は手書きが条件です。また、自己推薦書を裏付ける実績を証明する資料の写し(ポスター・造形物は写真)を添付しても構いません。 2. 調査書等 材料工学教育プログラムへの適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、面接試験(口頭試問)を課します。面接試験(口頭試問)の内容については、61ページを参照してください。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、下記の大学入学共通テストの教科・科目を課し、大学入学共通テストの結果により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <table border="1" data-bbox="338 1487 1406 1639"> <tr> <td>数 学 「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」</td> </tr> <tr> <td>理 科 「物理」、「化学」</td> </tr> <tr> <td>外国語 「英語」</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[3教科・5科目]</p> <p>注1:「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングの免除を許可された者を除く。)</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1" data-bbox="338 1758 1426 1870"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>情報</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>—</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> <p>注2: 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4 なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算します。</p>	数 学 「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	理 科 「物理」、「化学」	外国語 「英語」	教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	配点	—	—	200	200	200	—	600
数 学 「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」																				
理 科 「物理」、「化学」																				
外国語 「英語」																				
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計													
配点	—	—	200	200	200	—	600													

出願期間	令和8年(2026年)9月11日(金)～令和8年(2026年)9月17日(木)【郵送、必着】
選抜期日	第1次選抜期日 :書類選抜 第2次選抜期日 :令和8年(2026年)11月21日(土)
合格者発表日	第1次選抜合格者発表:令和8年(2026年)10月20日(火) 第2次選抜合格者発表:令和8年(2026年)12月8日(火) 最終合格者発表:令和9年(2027年)2月9日(火)
その他	・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。

実施学部 学科名等	理工学部 機械・材料・海洋系学科 海洋空間のシステムデザイン教育プログラム																								
募集人員	10名																								
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年(2027年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年(2027年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年(2027年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの及び令和9年(2027年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 令和8年度(2026年度)大学入学共通テストにおいて学科・教育プログラムの指定する教科・科目のすべてを受験する者 																								
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類審査とします。以下の書類により、海洋空間のシステムデザイン教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書(本学様式) 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムに対する熱意を 1,000 字程度で自己推薦してください。図表を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図表は手書きが条件です。 2. 調査書等 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムへの適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、面接試験(口頭試問)を課します。面接試験(口頭試問)の内容については、61ページを参照してください。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、下記の大学入学共通テストの教科・科目を課し、大学入学共通テストの結果により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <table border="1" data-bbox="341 1384 1404 1563"> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理」</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[4教科・5科目]</p> <p>注1:「理科」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。 なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 注2:「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングの免除を許可された者を除く。)</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1" data-bbox="341 1742 1426 1845"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史 ・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>情報</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>—</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>—</td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3: 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4 なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算します。</p>	国語	「国語」	数学	「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	理科	「物理」	外国語	「英語」	教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	配点	200	—	200	100	200	—	700
国語	「国語」																								
数学	「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」																								
理科	「物理」																								
外国語	「英語」																								
教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	合計																		
配点	200	—	200	100	200	—	700																		

出願期間	令和8年(2026年)9月11日(金)～令和8年(2026年)9月17日(木)【郵送、必着】
選抜期日	第1次選抜期日 :書類選抜 第2次選抜期日 :令和8年(2026年)11月21日(土)
合格者発表日	第1次選抜合格者発表:令和8年(2026年)10月20日(火) 第2次選抜合格者発表:令和8年(2026年)12月8日(火) 最終合格者発表:令和9年(2027年)2月9日(火)
その他	・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。

(5) 都市科学部

実施学部 学科名等	都市科学部 都市社会共生学科																				
募集人員	28名																				
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年(2027年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年(2027年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年(2027年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの及び令和9年(2027年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 令和9年度(2027年度)大学入学共通テストにおいて学科の指定する教科・科目のすべてを受験する者 <p>注1: 本学都市科学部の帰国生徒選抜との併願は認めません。</p>																				
選抜方法	<p>【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書及び課題作文 <ul style="list-style-type: none"> ・自己推薦書(本学様式): 都市社会共生学科を志望する動機、および本学科の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)を踏まえて、これまでの自身の学習等の活動の成果や関心を持つ問題等に触れながら、600字程度で自己推薦してください。図表・図案を入れても結構ですが、字数に含みません。文字・図表・図案は手書きが条件です。 ・課題作文: 別に提示する課題に従って1500～2000字程度の課題作文を書いて提出してください。課題作文は人文学・社会科学に関連する分野での発想力、論理的思考力及び表現力を問う内容で行います。なお、課題文として日本語の文章のほか、英語の文章を提示する場合があります。 <ol style="list-style-type: none"> 2. 調査書等: 都市社会共生学科への適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、自己推薦書と課題作文に基づいて適性及び能力を判断するために、面接試験〔口頭試問(これまでに培ってきた知識や経験に支えられた課題探究力、発想力、論理的思考力、表現力、グローバル対応力などの総合的な能力の検査)]を課します。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、以下の大学入学共通テストの試験教科・科目を課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの結果により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <table border="1" data-bbox="327 1664 1412 2045"> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「公共、倫理」、「公共、政治・経済」</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ、数学A」</td> <td rowspan="4">} (a)～(d)のいずれか</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">理科</td> <td>(a)「数学Ⅱ、数学B、数学C」</td> </tr> <tr> <td>(b)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」</td> </tr> <tr> <td>(c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」</td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>(d)「情報Ⅰ」</td> <td></td> </tr> </table> <p>(a)の場合 [4教科5科目] (b)(c)(d)の場合 [5教科5科目]</p>	国語	「国語」	} から1	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	} から1	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	数学	「数学Ⅰ、数学A」	} (a)～(d)のいずれか	理科	(a)「数学Ⅱ、数学B、数学C」	(b)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」	(c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	情報	(d)「情報Ⅰ」	
国語	「国語」	} から1																			
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」																				
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	} から1																			
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」																				
数学	「数学Ⅰ、数学A」	} (a)～(d)のいずれか																			
理科	(a)「数学Ⅱ、数学B、数学C」																				
	(b)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」																				
	(c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」																				
情報	(d)「情報Ⅰ」																				

	<p>注1:「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。</p> <p>注2:「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。</p> <p>注3:「国語」、「地理歴史」・「公民」、「外国語」、「数学(「数学Ⅰ、数学A」)」の得点に加え、「数学(「数学Ⅱ、数学B、数学C」)」、「理科」、「情報」の中で受験した科目のうち、最も得点の高い科目の得点を合計して合否判定に用います。「理科」を2科目受験した者は第1解答科目の得点を「理科」の得点とします。</p> <p>注4:「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングの免除を許可された者を除く。)</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1" data-bbox="331 448 1426 638"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>情報</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">配点</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>—</td> <td>200</td> <td>—</td> <td rowspan="2">700</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>*100</td> <td>*100</td> <td>—</td> <td>*100</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>100 (200)</td> <td>〈100〉</td> <td>200</td> <td>[100]</td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table> <p>注5:配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。</p> <p>注6:大学入学共通テスト「数学」が2科目採用された場合には()内の配点、「理科」が採用された場合には〈 〉内の配点、「情報」が採用された場合には[]内の配点で計算します。</p> <p>注7:大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。</p>	教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	配点	200	100	100	—	200	—	700	—	—	*100	*100	—	*100	合計	200	100	100 (200)	〈100〉	200	[100]	700
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計																								
配点	200	100	100	—	200	—	700																								
	—	—	*100	*100	—	*100																									
合計	200	100	100 (200)	〈100〉	200	[100]	700																								
出願期間	令和8年(2026年)9月10日(木)～令和8年(2026年)9月17日(木)【郵送、必着】																														
選抜期日	第1次選抜期日 :書類選抜 第2次選抜期日 :令和8年(2026年)11月21日(土)																														
合格者発表日	第1次選抜合格者発表:令和8年(2026年)10月21日(水) 第2次選抜合格者発表:令和8年(2026年)12月2日(水) 最終合格者発表:令和9年(2027年)2月9日(火)																														
その他	・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。																														

実施学部 学科名等	都市科学部 建築学科
募集人員	7名
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年(2027年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年(2027年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年(2027年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び令和9年(2027年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 高等学校若しくは中等教育学校等で数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cのすべて(旧教育課程履修者は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bのすべて)を履修した者及び履修見込みの者(注1・注2) <p>注1: 高等学校若しくは中等教育学校等を令和9年(2027年)3月までに卒業見込みの者は学校長名または担当教諭名の証明書(本学所定の様式)を添付すること。 注2: 上記に指定する名称以外の科目で履修した者及び履修見込みの者は事前確認を行うこと(詳細は募集要項を確認してください。) 注3: 本学都市科学部の帰国生徒選抜との併願は認めません。</p>
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類審査及び実技試験とします。 以下により、建築学科への熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書(本学様式) 建築学科に対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。 2. 調査書等 建築学科への適性を判断するために使用します。 3. 実技試験 自己推薦書による適性及び能力を判断するために実技試験(造形に関する思考力・表現力の検査)を課します。 建築学科のウェブサイト、出題例を公開していますので、参考にしてください。 (本学ウェブサイト https://www.ynu-arc.jp/admission/) <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、面接試験(口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力の検査)およびプレゼンテーションを含むグループ面接を課します。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜時の試験の結果により、最終合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>なお、大学入学共通テストは課しません。</p>
出願期間	令和8年(2026年)9月10日(木)～令和8年(2026年)9月17日(木)【郵送、必着】
選抜期日	第1次選抜期日 : 令和8年(2026年)10月10日(土) 第2次選抜期日 : 令和8年(2026年)11月21日(土)
合格者発表日	第1次選抜合格者発表 : 令和8年(2026年)10月21日(水) 最終合格者発表 : 令和8年(2026年)12月2日(水)
その他	・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。

実施学部 学科名等	都市科学部 都市基盤学科																			
募集人員	10名																			
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年(2027年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年(2027年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年(2027年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び令和9年(2027年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 高等学校若しくは中等教育学校等で数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cのすべて(旧教育課程履修者は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bのすべて)を履修した者及び履修見込みの者(注1・注2) 3. 令和9年度(2027年度)大学入学共通テストにおいて学科の指定する教科・科目のすべてを受験する者 <p>注1: 高等学校若しくは中等教育学校等を令和9年(2027年)3月までに卒業見込みの者は学校長名または担当教諭名の証明書(本学所定の様式)を添付すること。 注2: 上記に指定する名称以外の科目で履修した者及び履修見込みの者は事前確認を行うこと。(詳細は募集要項を確認してください) 注3: 本学都市科学部の帰国生徒選抜との併願は認めません。</p>																			
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類選抜とします。以下の書類により、都市基盤学科への熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書(本学様式) 都市基盤学科に対する熱意を、以下の点についてそれぞれ指定された字数で記述してください。図を入れても結構ですが字数には含みません。文書・図は手書きが条件です。 (1) 都市基盤学科を志望する理由(自分の能力や実績、社会や技術に対する自分の考えなどとの関係から記述してください): 400字程度 (2) 都市基盤学科を卒業した後の自分の姿: 200字程度 (3) 自分の特徴(良い点、悪い点): 200字程度 (4) いままで勉強以外で力を入れてきたことや得意なことなど: 200字程度 2. 調査書等 都市基盤学科への適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、面接試験を課します。面接試験では、志望動機等に関する質疑、物理的・社会的現象を対象とした課題に関するプレゼンテーションとそれに関する質疑(口頭試問による理解力、表現力の検査)を行います。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、以下の大学入学共通テスト教科・科目を課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <table border="1" data-bbox="338 1758 1406 2049"> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> <td rowspan="3">} (a)～(c)のいずれか</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>(a)「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「歴史総合、世界史探究」から1 (b)「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、から1 (c)「地理総合／歴史総合／公共」から2</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>「情報Ⅰ」</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">〔6教科・8科目〕又は〔7教科8科目〕</p>	国語	「国語」	} (a)～(c)のいずれか	地理歴史	(a)「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、	公民	「歴史総合、世界史探究」から1 (b)「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、から1 (c)「地理総合／歴史総合／公共」から2	理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2		数学	「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」		外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1		情報	「情報Ⅰ」	
国語	「国語」	} (a)～(c)のいずれか																		
地理歴史	(a)「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、																			
公民	「歴史総合、世界史探究」から1 (b)「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、から1 (c)「地理総合／歴史総合／公共」から2																			
理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2																			
数学	「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」																			
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1																			
情報	「情報Ⅰ」																			

	<p>注1:「地理総合／歴史総合／公共」は2 出題範囲で1 科目とみなします。 注2:「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 注3:「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングの免除を許可された者を除く。)</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>情報</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>1000</td> </tr> </tbody> </table> <p>注4:大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4 なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算します。</p>	教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	配点	200	100	200	200	200	100	1000
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計										
配点	200	100	200	200	200	100	1000										
出願期間	令和8年(2026年)9月10日(木)～令和8年(2026年)9月17日(木)【郵送、必着】																
選抜期日	第1次選抜期日 :書類選抜 第2次選抜期日 :令和8年(2026年)11月21日(土)																
合格者発表日	第1次選抜合格者発表:令和8年(2026年)10月21日(水) 第2次選抜合格者発表:令和8年(2026年)12月2日(水) 最終合格者発表:令和9年(2027年)2月9日(火)																
その他	・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。																

実施学部 学科名等	都市科学部 環境リスク共生学科																		
募集人員	10名																		
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年(2027年)3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年(2027年)3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年(2027年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの及び令和9年(2027年)3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 令和9年度(2027年度)大学入学共通テストにおいて学科の指定する教科・科目のすべてを受験する者 <p>注1: 本学都市科学部の帰国生徒選抜との併願は認めません。</p>																		
選抜方法	<p>【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書 環境リスク共生学科に対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。 2. 調査書等 環境リスク共生学科への適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、適性及び能力を判断するために、面接試験を課します。面接試験では、環境に関する社会的課題についての質疑(口頭試問による理解力、表現力の検査)、および志望動機等に関する質疑を行います。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、以下の大学入学共通テスト教科・科目を課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <table border="1" data-bbox="338 1442 1423 1899"> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> <td rowspan="2">}</td> <td rowspan="2">から1又は2</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「公共、倫理」、「公共、政治・経済」</td> <td rowspan="3">}</td> <td rowspan="3">地理歴史・公民から2科目の場合、理科は(a)又は(b) 地理歴史・公民から1科目の場合、理科は(c)</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>(a)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 (b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」</td> </tr> <tr> <td>外国語 情報</td> <td>「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>地理歴史・公民から1科目の場合[6教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合[6教科8科目]又は[7教科8科目]</p> <p>注1: 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。 注2: 「地理歴史」・「公民」において2科目選択する場合の組み合わせは、70ページ「共通テスト 地理歴史・公民2科目受験時に選択可能な組み合わせ一覧」を参照してください。 注3: 「地理歴史」・「公民」から2科目を受験した者で、「理科」の(a)と(b)のどちらも受験した場合は、「理科」の第1解答科目の得点を合否判定に用います。</p>	国語	「国語」	}	から1又は2	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	}	地理歴史・公民から2科目の場合、理科は(a)又は(b) 地理歴史・公民から1科目の場合、理科は(c)	理科	(a)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 (b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2	数学	「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」	外国語 情報	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」		
国語	「国語」	}	から1又は2																
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」																		
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	}	地理歴史・公民から2科目の場合、理科は(a)又は(b) 地理歴史・公民から1科目の場合、理科は(c)																
理科	(a)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 (b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2																		
数学	「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」																		
外国語 情報	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」																		

	<p>注4:「地理歴史」・「公民」から2科目を受験した者で、「理科」の(c)を受験した場合は、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。</p> <p>注5:「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングの免除を許可された者を除く。)</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史 ・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>情報</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>100 (200)</td> <td>200</td> <td>200 (100)</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>1000</td> </tr> </tbody> </table> <p>注6:「地理歴史」・「公民」及び「理科」において、「地理歴史」・「公民」の採用された科目が2科目の場合には、()内の配点で計算します。</p> <p>注7:大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。 200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4 なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。</p>	教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	配点	200	100 (200)	200	200 (100)	200	100	1000
教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	合計										
配点	200	100 (200)	200	200 (100)	200	100	1000										
出願期間	令和8年(2026年)9月10日(木)～令和8年(2026年)9月17日(木)【郵送、必着】																
選抜期日	第1次選抜期日 :書類選抜 第2次選抜期日 :令和8年(2026年)11月21日(土)																
合格者発表日	第1次選抜合格者発表:令和8年(2026年)10月21日(水) 第2次選抜合格者発表:令和8年(2026年)12月2日(水) 最終合格者発表:令和9年(2027年)2月9日(火)																
その他	・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。																

2. 学校推薦型選抜

(国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。)

(1) 経営学部

実施学部 学科名等	経営学部 経営学科
募集人員	49名
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 出身学校長の推薦を受けた者で、令和8年(2026年)4月から令和9年(2027年)3月までに高等学校(特別支援学校の高等部及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を含む。)若しくは中等教育学校を卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者</p> <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学部において、大学教育を修めたい希望と学業に対する熱意を持ち、出身学校における学習成績概評がA段階(調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上)に属し、出身学校長が責任をもって人物・学力ともに優れていると認め推薦できる者 2. 合格した場合には入学の確約ができる者 <p>(注)推薦人員について 1校2名まで推薦できます。ただし、課程が違う場合(全日制と定時制など)は、同一の学校(学校長)でも別の学校と見なします。</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、小論文、面接による試験と志望理由書、出身学校長が作成した推薦書及び調査書を総合して行います。大学入学共通テストは免除します。</p> <p>小論文及び面接の内容については、62ページを参照してください。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>
出願期間	令和8年(2026年)11月 2日(月)～令和8年(2026年)11月9日(月) 【郵送、必着】
選抜期日	令和8年(2026年)12月 7日(月)
合格者発表日	令和8年(2026年)12月17日(木)
その他	・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。

(2) 理工学部

実施学部 学科名等	理工学部 化学・生命系学科 (化学教育プログラム・化学応用教育プログラム・バイオ教育プログラム)※																																			
募集人員	33名 ※学生募集は教育プログラムを分けずに行い、教育プログラムの決定は、第2学年進級時に本人の希望と科目履修状況に基づいて行います。																																			
出願要件	次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者 【基礎資格】出身学校長の推薦を受け、かつ、令和9年度(2027年度)大学入学共通テストにおいて指定する教科・科目のすべてを受験した者で、次の1または2に該当する者 1. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)若しくは中等教育学校を令和8年(2026年)4月から令和9年(2027年)3月までに卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和8年(2026年)4月から令和9年(2027年)3月までに修了または修了見込みの者 【要件】次の1から4のすべてに該当する者 1. 出身学校長が人物、能力等について責任をもって推薦できる者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 出身学校において理科を2科目以上履修した者 4. 合格した場合には入学の確約ができる者 ※「理科」とは、「物理基礎」、「物理」、「化学基礎」、「化学」、「生物基礎」、「生物」、「地学基礎」、「地学」を指します。																																			
選抜方法	入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績・推薦書・調査書及び面接によって行います。 面接の内容については、62ページを参照してください。 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。 (大学入学共通テストの教科・科目) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「公共、倫理」、「公共、政治・経済」</td> <td rowspan="2">} から2</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理」、「化学」、「生物」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>「情報Ⅰ」</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">〔6教科・8科目〕</p> <p>注1:「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。 なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 注2:「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングの免除を許可された者を除く。)</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>情報</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>1000</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3: 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。 200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4 なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算します。</p>	国語	「国語」	} から1	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	} から2	数学	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」	理科	「物理」、「化学」、「生物」		外国語	「英語」		情報	「情報Ⅰ」		教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	配点	200	100	200	200	200	100	1000
国語	「国語」	} から1																																		
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」																																			
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	} から2																																		
数学	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」																																			
理科	「物理」、「化学」、「生物」																																			
外国語	「英語」																																			
情報	「情報Ⅰ」																																			
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計																													
配点	200	100	200	200	200	100	1000																													
出願期間	令和9年(2027年)1月18日(月)～令和9年(2027年)1月22日(金)【郵送、必着】																																			
選抜期日	令和9年(2027年)2月4日(木)																																			
合格者発表日	令和9年(2027年)2月9日(火)																																			
その他	・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。																																			

実施学部 学科名等	理工学部 数物・電子情報系学科 電子情報システム教育プログラム
募集人員	(一般枠) 8名 (女子枠) 8名
出願要件	<p>(一般枠) 次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 出身学校長の推薦を受け、かつ、令和9年度(2027年度)大学入学共通テストにおいて指定する教科・科目のすべてを受験した者で、次の1又は2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)若しくは中等教育学校を令和8年(2026年)4月から令和9年(2027年)3月までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和8年(2026年)4月から令和9年(2027年)3月までに修了又は修了見込みの者 <p>【要件】 次の1から4のすべてに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出身学校長が人物、能力等について責任をもって推薦できる者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者、若しくは、調査書の国語、数学、理科、外国語において学習成績の状況の平均が4.2以上(小数点以下第2位を四捨五入)の者(注1) 3. 出身学校において「数学Ⅲ」と「数学C」および理科を2科目以上履修した者(注2) 4. 合格した場合には入学の確約ができる者 <p>注1:例えば、全体の学習成績の状況が3.9だが、国語3.4、数学4.5、理科4.5、外国語4.2の場合、国語、数学、理科、外国語の学習成績の状況の平均が4.15のため、出願資格があります。</p> <p>注2:「理科」とは、「物理基礎」、「物理」、「化学基礎」、「化学」、「生物基礎」、「生物」、「地学基礎」、「地学」を指します。</p> <p>注3:推薦人員については、1校4名まで推薦することができます。(一般枠)と(女子枠)は合算しません (女子枠)に合格しなかった者は、(一般枠)の出願が可能です。</p>
	<p>(女子枠)</p> <p>【基礎資格】 出身学校長の推薦を受け、次の1又は2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)若しくは中等教育学校を令和8年(2026年)4月から令和9年(2027年)3月までに卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和8年(2026年)4月から令和9年(2027年)3月までに修了又は修了見込みの者 <p>【要件】 次の1から5のすべてに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 戸籍上の性別が「女性」である者 2. 出身学校長が人物、能力等について責任をもって推薦できる者 3. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者、若しくは、調査書の国語、数学、理科、外国語において学習成績の状況の平均が4.2以上(小数点以下第2位を四捨五入)の者(注1) 4. 出身学校において「数学Ⅲ」と「数学C」および「物理」、「化学」、「生物」から2科目以上履修した者 5. 合格した場合には入学の確約ができる者 <p>注1:例えば、全体の学習成績の状況が3.9だが、国語3.4、数学4.5、理科4.5、外国語4.2の場合、国語、数学、理科、外国語の学習成績の状況の平均が4.15のため、出願資格があります。</p> <p>注2:推薦人員については、1校4名まで推薦することができます(一般枠)と(女子枠)は合算しません (女子枠)に合格しなかった者は、(一般枠)の出願が可能です。</p>

選抜方法	<p>(一般枠) 入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績・推薦書・調査書及び面接によって行います。 面接の内容については、62ページを参照してください。 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「公共、倫理」、「公共、政治・経済」</td> <td rowspan="2">}</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理」、「化学」、「生物」から2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>「情報Ⅰ」</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">〔6教科・8科目〕</p> <p>注1:「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。 なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 注2:「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングの免除を許可された者を除く。)</p> <p>(大学入学共通テストの配点)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史・ 公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>情報</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>1000</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3: 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。</p> <p style="text-align: center;">200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4</p> <p>なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算します。</p>	国語	「国語」	} から1	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	}	数学	「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」	理科	「物理」、「化学」、「生物」から2		外国語	「英語」		情報	「情報Ⅰ」		教科名	国語	地理歴史・ 公民	数学	理科	外国語	情報	合計	配点	200	100	200	200	200	100	1000
	国語	「国語」	} から1																																	
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」																																			
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	}																																		
数学	「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」																																			
理科	「物理」、「化学」、「生物」から2																																			
外国語	「英語」																																			
情報	「情報Ⅰ」																																			
教科名	国語	地理歴史・ 公民	数学	理科	外国語	情報	合計																													
配点	200	100	200	200	200	100	1000																													
	<p>(女子枠) 入学者の選抜は、推薦書、調査書、面接、口頭試問によって行います。なお、大学入学共通テストは課しません。 面接の内容については、62ページを参照してください。 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>																																			
出願期間	<p>(一般枠) 令和9年(2027年)1月18日(月)～令和9年(2027年)1月22日(金)【郵送、必着】</p> <p>(女子枠) 令和8年(2026年)11月3日(火)～令和8年(2026年)11月9日(月)【郵送、必着】</p>																																			
選抜期日	<p>(一般枠) 令和9年(2027年)2月 4日(木)</p> <p>(女子枠) 令和8年(2026年)11月21日(土)</p>																																			
合格者発表日	<p>(一般枠) 令和9年(2027年)2月9日(火)</p> <p>(女子枠) 令和8年(2026年)12月8日(火)</p>																																			
その他	<p>・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。</p>																																			

3. 帰国生徒選抜、外国学校出身者選抜

(1) 経済学部 外国学校出身者選抜

実施学部 学科名等	経済学部 経済学科
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の基礎資格を有し、かつ、基礎資格に対応する要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 外国の学校教育を受けた者で、次のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程(※1)を令和7年(2025年)4月1日から、令和9年(2027年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者 2. 地理的場所的に外国において次の資格のいずれかを令和7年(2025年)又は令和7年(2025年)に授与された者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格 (5) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際Aレベル資格)のいずれか[3科目以上合格(評価E以上)](※2) 3. 地理的場所的に外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、NEASC、CIS、Cognia、COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和7年(2025年)4月1日から令和9年(2027年)3月31日までに卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者 <p>【要件】 【基礎資格1.】により出願する場合は、次の1及び2に該当する者 【基礎資格3.】により出願する場合は、次の2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けていること なお、外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとみなしません。 2. 中等教育修了時に課される国家試験等の統一試験又はこれに準ずる試験を受験できる国の学校を修了あるいは修了見込みの者は、その試験を受験していること(当該試験が大学入学資格試験あるいは中等教育修了試験である場合には、その試験に合格していなければなりません。)「国家試験等の統一試験又はこれに準ずる試験」についての詳細は次のとおりである。 <ol style="list-style-type: none"> ① アメリカ合衆国の教育制度によるもの 次の試験を全て受験している者(片方のみの受験では無効) ・SAT (Reasoning Test) : SAT Essay の提出は不要。 ・TOEFL iBT : Home Edition を含む。Test Date スコアを採用。 ② イギリスの教育制度によるもの ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際Aレベル資格)のいずれか[2科目合格(評価E以上)]を有する者 ③ それ以外の国の教育制度によるもの その国に統一試験が存在する場合には、その統一試験を受験している者 その国に統一試験が存在しないか、出願期間内に統一試験の結果を提出できない場合には、①又は②を受験すること <p>※1: 「外国において学校教育における12年の課程」とは、最終学校が地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者(「【基礎資格】2」、「【基礎資格】3」のいずれかを満たす者は除く)については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会すること。</p> <p>※2: ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際Aレベル資格)のいずれか[2科目合格(評価E以上)]を有する者は、「【基礎資格】1」又は「【基礎資格】3」を満たすことにより出願資格を有する。</p> <p>(注1) 本学他学部の帰国生徒選抜との併願は認めません。</p>

選抜方法	<p>入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜の2段階で行います。</p> <p>第1次選抜: 出願書類(統一試験等成績評価証明書、出身学校成績証明書)により選抜を行います。</p> <p>第2次選抜: 第1次選抜合格者に対し、小論文及び面接を課して選抜を行います。</p> <p>小論文及び面接の内容については、62ページを参照してください。</p>
出願期間	令和8年(2026年)9月 4日(金)～令和8年(2026年)9月 9日(水)【郵送・窓口、必着】
選抜期日	<p>令和8年(2026年)11月16日(月)</p> <p>出願書類による第1次選抜の結果は、令和8年(2026年)10月16日(金)付けで本人に通知します。</p>
合格者発表日	令和8年(2026年)12月17日(木)
その他	<p><u>・入学志願者が外国にいる場合は、必ず国内の連絡者を通じて出願してください。</u></p> <p>・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。</p>

(2) 経営学部 帰国生徒選抜

実施学部 学科名等	経営学部 経営学科
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の1～4のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を令和7年(2025年)4月1日から令和9年(2027年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者で、最終学年を含めて学校暦2年以上継続してその国の正規の教育制度に基づく高等学校に在学した者 2. 外国において学校暦2年以上継続して外国の教育制度に基づく高等学校に在籍し、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入学した者で、令和8年(2026年)4月から令和9年(2027年)3月までに卒業又は卒業見込みの者 3. 外国において外国の教育制度に基づく高等学校に学校暦2年以上在学し、次の資格のいずれかを令和7年(2025年)又は令和8年(2026年)に授与された者(ただし、帰国後2年未満であること) <ol style="list-style-type: none"> (1)スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3)フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4)欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格 (5)グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際Aレベル資格)のいずれか[3科目以上合格(評価E以上)していること] 4. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、NEASC、CIS、Cognia、COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設にて、高等学校に対応する課程で学校暦2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程を令和7年(2025年)4月1日から令和9年(2027年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者 <p>(注1) 出願要件を備えた者でも、本学部帰国生徒選抜への受験機会は1回とし、過去に受験した者の再受験は認めません。</p> <p>(注2) 本学他学部の帰国生徒選抜(外国学校出身者選抜を含む。)との併願は認めません。</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、小論文及び面接による試験と志望理由書・成績証明書を総合して行います。小論文及び面接の内容については、62ページを参照してください。</p>
出願期間	令和8年(2026年)10月21日(水)～令和8年(2026年)10月27日(火)【郵送、必着】
選抜期日	令和8年(2026年)12月7日(月)
合格者発表日	令和8年(2026年)12月17日(木)
その他	<p>・入学志願者が外国にいる場合は、必ず国内の連絡者を通じて出願してください。</p> <p>・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。</p>

(3) 都市科学部 帰国生徒選抜

実施学部 学科名等	都市科学部 建築学科
募集人員	2名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の(1)～(4)のいずれかに該当する者</p> <p>(1)外国において学校教育における12年の課程を令和7年(2025年)4月1日から令和9年(2027年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者で、外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けた者</p> <p>(2)外国の教育制度に基づいて外国に設置された学校から、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入し、令和8年(2026年)4月から令和9年(2027年)3月までに卒業又は卒業見込みの者で、次の①・②のどちらかを満たす者</p> <p>① 外国の学校教育制度に基づく中学校ないし高等学校に通算3年以上在籍した者</p> <p>② 外国の学校教育制度に基づく高等学校に学校暦2年以上継続して在籍した者</p> <p>(3)外国において次の(a)～(e)のいずれかを令和7年(2025年)又は令和8年(2026年)に授与された者</p> <p>(a)スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>(b)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>(c)フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(d)欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格</p> <p>(e)グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際Aレベル資格)のいずれか[3科目以上合格(評価E以上)していること]</p> <p>(4)外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、NEASC、CIS、Cognia、COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和7年(2025年)4月1日から令和9年(2027年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者。</p> <p>注1:「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者(2 出願要件(3)又は(4)を満たす者は除く)については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会してください。</p> <p>注2:外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p> <p>注3:本学他学部また都市科学部他学科の帰国生徒選抜(外国学校出身者選抜を含む)との併願は認めません。また、本学都市科学部の総合型選抜との併願も認めません。</p>
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類審査・実技試験・小論文による選抜を行います。以下により、建築学科への熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己推薦書(本学様式) 海外での生活経験をふまえて、建築学科に対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。図を入れても結構ですが、字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。 調査書等 建築学科への適性を判断するために使用します。 実技試験及び小論文 自己推薦書による適性及び能力を判断するために、実技試験(造形に関する思考力・表現力の検査)及び小論文を課します。 建築学科のウェブサイト、出題例を公開していますので、参考にしてください。 (本学ウェブサイト https://www.ynu-arc.jp/admission/) <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、面接試験(口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力の検査)を課します。</p> <p>第2次選抜の結果により最終合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>実技、小論文及び面接の内容については、62ページを参照してください。 ※大学入学共通テストは課しません。</p>

出願期間	令和8年(2026年)9月10日(木)～令和8年(2026年)9月17日(木)【郵送、必着】
選抜期日	第1次選抜期日 : 令和8年(2026年)10月10日(土) 第2次選抜期日 : 令和8年(2026年)11月21日(土)
合格者発表日	第1次選抜合格者発表 : 令和8年(2026年)10月21日(水) 最終合格者発表 : 令和8年(2026年)12月2日(水)
その他	・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。

4. YOKOHAMA SOCRATES PROGRAM入試(令和9年(2027年)4月入学)

英語と日本語を共通言語として学士号を取得できる4年間のプログラムです。

実施学部 学科名等	YNU Program for Socially Resilient and Sustainable Ecosystems (国際戦略推進機構・都市科学部都市社会共生学科)
アドミッション ポリシー	<p>[ソクラテスプログラムが求める学生像]</p> <p>本プログラムで、ローカル及びグローバルな空間に横たわる政治的、経済的、社会的課題に対し Social Resilience と Social Sustainability の視点から対応できる人材を養成するにあたり、幅広い視点から社会課題を人文社会科学の方法を使って分析・考察・実践することにより解決し、多彩な分野で活躍できる可能性をもった入学者を求めます。</p> <p>[ソクラテスプログラムが入学者に求める知識や能力・水準]</p> <p>(1) 知識・技能 高等学校等での各科目での学びを通して習得した基本的知識と、授業や演習及び日常のコミュニケーションに十分な英語力、最低限の日本語力もしくは日本語を学ぶ意欲を求める。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力 不確実性の高まる空間で遭遇する様々な課題に対し、多様な視角を理解し、自分がいる時空間を超えて広い観点から思考できる能力や判断力を備えており、それらを 2 カ国語以上の言語を駆使して自分なりに表現する意欲と能力を持っている。</p> <p>(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性) 専門領域について意欲的に学ぶ姿勢を持ち、様々なバックグラウンドを持った人々と協働しながら自らの能力を高めようという意識を求める。</p>
募集人員	8名
出願要件	<p>●出願資格 次の(1)～(4)のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 外国の教育機関における学校教育*を受けた期間が通算 3 年以上である者のうち、国内外を問わず、修了により当該学校等が所在する国の大学への受験資格を得ることのできる 12 年の学校教育課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 *「外国の教育機関における学校教育」とは、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、原則として、地理的に外国にあることを指します。インターナショナルスクールやアメリカンスクールなどの学校からの出願者(出願資格(3)または(4)を満たす者を除く)は、出願資格の確認に時間がかかることがありますので、出願開始日の3週間前までにご相談ください。地理的に外国であっても、日本の学校教育法に基づく教育課程を有する学校での在籍期間は、外国の教育機関における学校教育を受けた期間には算入されません。</p> <p>(2) (1)に準ずる者で文部科学大臣の指定したもの* *「(1)に準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」については出願開始日の3週間前までに照会してください。</p> <p>(3) 外国において次の資格のいずれかを授与された者 a) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 b) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 c) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 d) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格 e) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際Aレベル資格)のいずれか[3科目以上合格(評価E以上)していること]</p> <p>(4) 国内外を問わず文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、NEASC、CIS、Cognia、COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>●出願要件 次の(1)～(2)のすべてを満たす者</p> <p>(1) 出願期間内に a)～g)のいずれかの証明書を提出できる者*</p> <p>a) TOEFL iBT (Home Edition を含む):2026 年 1 月 20 日以前受験スコア 80 以上、2026 年 1 月 21 日以降受験スコア 4.0(1-6 スコアスケール)/80(0-120 スコアスケール)以上。(Test Date スコアを採用し、My Best Score は利用しない。)</p> <p>b) IELTS (Academic Module)※IELTS Online を含む:オーバーオール・バンド・スコア:6.0 以上</p> <p>c) 国際バカロレア(English A の場合、HL:5 又は SL:5 以上、English B の場合、HL:5 又は SL:6 以上)</p> <p>d) Malaysian University English Test(MUET) バンド4以上</p> <p>e) 中国全国公共英語等級考試:Public English Test System 5 級 (PETS5)</p> <p>f) 英語による教育課程に修了年次を含め連続して4年以上、又は通算6年以上在籍したこと</p> <p>g) 上記と同等以上の英語能力を有すること(出願前に必ず相談すること)</p> <p>*上記については、出願時に有効なスコアのみ受け付けます。</p> <p>(2) 外国籍の者は、出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者、若し</p>

	<p>くは令和9年(2027年)3月31日までに取得できる者</p> <p>注: 本学他学部また都市科学部の総合型選抜、帰国生徒選抜(外国学校出身者選抜を含む)、YGEP(渡日入試・渡日前入試)との併願は認めません。</p>
選抜方法	<p>第一次選抜</p> <p>入学者の選抜は、以下の提出書類を総合的に評価して行います。</p> <p>(1) 自己推薦書</p> <p>(2) エッセイ</p> <p>(3) 高等学校(日本の高等学校に相当する課程をいう)の成績</p> <p>(4) 国際標準テストの成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出があった場合には、国際標準テストの成績に応じて、総合得点の10%を上限として加点します。 ・複数の提出があった場合には、もっとも得点が高くなる国際標準テストの成績を採点対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> a) SAT(Reading and Writing, Math) b) ACT(English, Math, Reading, Science) c) 国際バカロレア資格(ディプロマのみ) d) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(3科目以上合格(評価E以上)) e) 日本留学試験(総合科目および数学(コース1またはコース2)を含むこと) <p>第二次選抜</p> <p>提出書類とオンラインによる口頭試問(プレゼンテーションを含む。基礎学力、エッセイのテーマに対する基本的な理解、論理的思考力及び表現力を問う内容で行います)</p> <p>Zoomによる口頭試問を行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できるようにしてください。時間は接続確認等の時間を除いて30分程度で、英語により行います。日時は後日指定します。</p>
出願期間	令和8年(2026年)10月7日(水)～10月13日(火)17時(日本時間)【インターネットによる出願】
選抜期日	<p>第一次選抜: 令和8年(2026年)10月下旬(書類選抜)</p> <p>第二次選抜: 令和8年(2026年)11月19日(木)～11月20日(金)</p>
合格者発表日	<p>第一次選抜: 令和8年(2026年)11月11日(水)</p> <p>第二次選抜: 令和8年(2026年)12月9日(水)</p>
その他	<p>問い合わせ等連絡先 横浜国立大学学務・国際戦略部グローバル推進課留学生係</p> <p>E-mail : global.student@ynu.ac.jp Website: https://socrates.ynu.ac.jp/</p>

5. 特別選抜における小論文及び面接等の内容

区分	実施学部	小論文・エッセイ・ 実技・文章実技	面接・口頭試問	
総合型選抜	教育学部	<p>・第1次選抜（地域教員希望枠・専門領域枠）の小論文：学校教育をめぐる今日的課題に取り組む力を問う出題について、読解力・文章作成力・論理的思考力等を評価します。</p> <p>・第2次選抜（専門領域枠）の実技： 音楽専門領域で聴音〔2声の書き取り（大譜表、8小節程度）〕の実技検査を行い、音楽教員に求められる実技能力を備えているかを追加して評価します。</p>	<p>・第2次選抜（地域教員希望枠・専門領域枠）の面接：提出書類の内容を基に複数の面接員による個人面接を行い、小・中・特別支援学校等の教員を志す者としての教育に対する情熱やコミュニケーション能力を有するかを総合的に評価します。</p> <p>専門領域枠のうち、社会、英語、数学の専門領域の志願者は、以下の点にも注意してください。</p> <p>社会専門領域：指定文献（岩淵功一『多様性とどう向き合うか—違和感から考える—』（岩波新書 2025年））に関する内容について質疑を追加して行います。</p> <p>英語専門領域：面接の一部を英語で行い、英語の運用能力を追加して評価します。</p> <p>数学専門領域：子供たちが学ぶ算数・数学に関する事項についての質疑を追加して行います。</p>	
	経済学部		複数の面接員による個人面接試験を行います。自己推薦書及び他の提出書類を参考にした面接を通して熱意と適性を総合的に判断します。	
	理工学部 機械・材料・海洋系学科	材料工学 EP		<p>複数の面接員による個人面接（口頭試問）で、自己推薦書に関する説明と質疑、志望動機、材料工学教育プログラムに対する熱意、教育プログラムで学んだ後の将来の夢、健全な大学生活を送るうえでの適性、入学後の抱負などを評価します。</p> <p>加えて、理工学的考えに基づく論理的思考力、理解力、表現力も審査し、今までに学んできた数学、理科（物理・化学）などを活用した理工学的な考え方、材料工学教育プログラムに対する興味、知識や考え方を他者へ合理的に説明できる能力を評価します。</p>
		海洋空間システムデザイン EP		<p>複数の面接員による個人面接（口頭試問）で、自己推薦書に関する説明と質疑、志望動機、海洋空間のシステムデザイン教育プログラムに対する熱意、大学で学ぶ意欲、健全な大学生活を送るうえでの適性、入学後の抱負などを評価します。</p> <p>加えて、理工学的考えに基づく論理的思考力、理解力、表現力も審査し、今までに学んできた数学、理科（物理）などを活用した理工学的な考え方、課題に対して視野の広い論理的思考力、知識や考え方を他者へ合理的に説明できる能力を評価します。</p>
	都市科学部	都市社会共生学科	都市社会共生学科への適性を評価するため、発想力、論理的思考力、表現力などを検査する課題作文を課します。	第1次選抜合格者に対して、第2次選抜にて、複数の面接員による面接試験（口頭試問による課題探究力、発想力、論理的思考力、表現力、グローバル対応力などの総合的な能力の検査）を課します。
		建築学科	建築学科への適性を評価するため、造形に関する思考力・表現力を検査する実技試験を課します。	第1次選抜合格者に対して、第2次選抜にて、複数の面接員による面接試験（口頭試問による論理的思考力・理解力の検査）およびプレゼンテーションを含むグループ面接を課します。
		都市基盤学科		複数の面接員による個人面接で、土木工学に関する社会的課題についての質疑を行い、情報分析力、論理的思考力、表現力を評価します。また、志望動機等に関する質疑を行います。
		環境リスク共生学科		適性及び能力を判断するために、複数の面接員による面接試験を行います。面接試験では、環境に関する社会的課題についての質疑（口頭試問による理解力、表現力の検査）、および志望動機等に関する質疑を行います。

学校推薦型選抜	経営学部		経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。	複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。
	理工学部	化学・生命系学科 （化学 EP・化学応用 EP・バイオ EP）	経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。	複数の面接員による個人面接で、志望動機、もの作りや自然現象に関する興味、数学・理科および英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送るうえでの適性、入学後の抱負などを評価します。
		数物・電子情報系学科 （電子情報システム EP）		（一般枠） 複数の面接員による個人面接で、志望動機、電気・電子・通信・情報工学などに関する興味、これらの分野の研究者、技術者として、新しい創造的な科学や、高度情報化社会を支える先端的技术を創出しようとする意欲、数学・理科および英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送るうえでの適性、入学後の抱負などを評価します。 （女子枠） 複数の面接員による個人面接で、志望動機、電気・電子・通信・情報工学などに関する興味、これらの分野の研究者、技術者として、新しい創造的な科学や、高度情報化社会を支える先端的技术を創出しようとする意欲、数学・理科および英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送るうえでの適性、入学後の抱負などを評価します。さらに、将来、女性研究者・技術者として社会においてどのような役割を果たしていきたいかという将来のビジョンや意欲も評価します。 加えて、複数の面接員による口頭試問で、理工学的考えに基づく論理的思考力、理解力、表現力も審査し、今まで学んできた数学、理科などを活用した理工学的な考え方、電子情報システム教育プログラムに対する興味、知識や考え方を他者へ合理的に説明できる能力を評価します。
帰国生徒・外国学校出身者選抜	経済学部		社会科学に関するテーマについての基本的な理解、見解の独創性・論理性、論文の構成力・表現力等をもって評価します。	複数の面接員による個人面接で、外国学校で学んだことや海外体験、そこでの勉強の達成度をどのように自己評価するか、大学で何を学びたいのか、その対象に対する基礎知識と問題解決能力などを評価します。 統一試験等成績評価証明書及び出身学校成績証明書の評価も含まれます。
	経営学部		経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。	複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。
	都市科学部	建築学科	建築を中心としたテーマに対する思考力、表現力、独創性・論理性、および、造形に関する思考力・表現力を評価します。	複数の面接員による個人面接を行います。海外で学んだこと、大学で学びたいことと海外経験の活かし方の関わりに対する考え、および、口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力を評価します。
プログラム	都市科学部 都市社会共生学科		現代社会における様々な課題についての問題設定能力、論理的思考力及び表現力、多様なバックグラウンドを持った人々と協働する能力を評価します。	複数の審査員によるプレゼンテーションを含む口頭試問を行います。 基礎学力、エッセイのテーマに対する基本的な理解、論理的思考力及び表現力を評価します。

V 私費外国人留学生等の入学者選抜

本学では、私費外国人留学生の入学者選抜を、YGE P-N1（渡日入試）及びYGE P-N1（渡日前入試）として実施します。詳細については、学部別に作成される募集要項を参照してください。

YGE P-N1：正式名称は横浜グローバル教育プログラム。来日して日本語を学んできた外国人、又は来日前にある程度日本語を学んだ外国人で日本語能力試験N1相当の者を対象とした入試です。日本語能力試験の受験は必要ありません。入学後は日本人学生と一緒に通常カリキュラムを履修します。

注：選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

1. YGE P-N1（渡日入試）

実施学部 学科名等	経済学部 経営学部 理工学部 都市科学部
募集人員	6ページを参照
出願要件	<p>日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たすもの</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程(※)を修了した者及び令和9年(2027年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 次の資格のいずれかを授与された者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格 (5) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際 A レベル資格)のいずれか[3科目以上合格(評価E以上)していること] 3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、NEASC、CIS、Cognia、COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び令和9年(2027年)3月31日までに修了する見込みの者 <p>※外国において学校教育における12年の課程とは地理的、場所的に外国で原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、修了により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者(基礎資格2～3のいずれかに該当する者は除く。)については、本規定によって出願が認められない場合があるので早めに照会してください。</p> <p>【要件】 次の1及び2に該当し、かつ、3にも該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者、若しくは令和9年(2027年)3月31日までに取得できる者 2. <u>令和8年(2026年)6月実施又は令和8年(2026年)11月実施</u>の日本留学試験を受験し、かつ各学部で指定する要件(別表)を満たしている者 3. 各学部が指定する TOEFL、TOEIC 又は IELTS を受験し、かつ各学部で指定する英語科目への対応等の要件(別表)を満たしている者 <p>注1 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この項の選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。</p> <p>注2 理工学部の志願者は、1つの学科及び教育プログラムを出願時に選択する必要があります。ただし、化学・生命系学科の学生募集は教育プログラムを分けずに行います。化学・生命系学科の入学後の教育プログラムの決定は、第2学年進級時に本人の希望と履修科目に基づいて行います。</p> <p>注3 在留資格「留学」を取得するにあたっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。</p>

<p>入学者の選抜は、個別テスト、面接、日本留学試験及び成績証明書によって行います。なお、各学部の選抜方法は以下のとおりです。</p>	<table border="1" data-bbox="316 286 970 555"> <thead> <tr> <th></th> <th>試験科目等</th> <th>日本留学試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経済学部</td> <td>面接（２段階選抜を実施）</td> <td>重視する</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>面接（２段階選抜を実施）</td> <td>重視する</td> </tr> <tr> <td>理工学部</td> <td>数学及び面接</td> <td>重視する</td> </tr> <tr> <td>都市科学部</td> <td>面接</td> <td>重視する</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 経済学部は、日本留学試験およびTOEFL又はTOEICの成績により、第1段階選抜を行い、その第1段階選抜合格者に対し、面接を行います。</p> <p>注2 経営学部は、日本留学試験およびTOEFL又はTOEICの成績により、第1段階選抜を行い、その第1段階選抜合格者に対し、複数の面接員による個人面接試験を行います。</p> <p>注3 都市科学部については、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績を重視します。</p>		試験科目等	日本留学試験	経済学部	面接（２段階選抜を実施）	重視する	経営学部	面接（２段階選抜を実施）	重視する	理工学部	数学及び面接	重視する	都市科学部	面接	重視する
	試験科目等	日本留学試験														
経済学部	面接（２段階選抜を実施）	重視する														
経営学部	面接（２段階選抜を実施）	重視する														
理工学部	数学及び面接	重視する														
都市科学部	面接	重視する														
<p>出願期間</p>	<table border="1" data-bbox="300 913 1331 1115"> <thead> <tr> <th>学部名</th> <th>出願期間</th> <th>受付方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経済学部</td> <td>令和9年(2027年) 1月12日(火)～1月15日(金)</td> <td>郵送受付</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>令和9年(2027年) 1月8日(金)～1月15日(金)</td> <td>郵送受付</td> </tr> <tr> <td>理工学部</td> <td>令和9年(2027年) 1月18日(月)～1月22日(金)</td> <td>郵送受付</td> </tr> <tr> <td>都市科学部</td> <td>令和8年(2026年) 10月29日(木)～11月4日(水)</td> <td>郵送受付</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。</p> <p>注2 郵送受付による出願は、各学部の出願期間最終日までに横浜国立大学必着です。</p> <p>注3 TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績証明書は原則出願期間内に必着です。 なお、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績証明書は受験してから交付まで相当期間を要するので、出願期間に留意のうえ、早めに準備してください。</p> <p>注4 日本留学試験の成績に関する書類は、各学部の募集要項で確認してください。</p> <p>注5 TOEIC 公開テストのデジタル公式認定証の取扱いについては、各学部の募集要項で確認してください。</p> <p>最新の情報は、各入試の学生募集要項および上記ウェブサイトです必ず確認をしてください。</p>	学部名	出願期間	受付方法	経済学部	令和9年(2027年) 1月12日(火)～1月15日(金)	郵送受付	経営学部	令和9年(2027年) 1月8日(金)～1月15日(金)	郵送受付	理工学部	令和9年(2027年) 1月18日(月)～1月22日(金)	郵送受付	都市科学部	令和8年(2026年) 10月29日(木)～11月4日(水)	郵送受付
学部名	出願期間	受付方法														
経済学部	令和9年(2027年) 1月12日(火)～1月15日(金)	郵送受付														
経営学部	令和9年(2027年) 1月8日(金)～1月15日(金)	郵送受付														
理工学部	令和9年(2027年) 1月18日(月)～1月22日(金)	郵送受付														
都市科学部	令和8年(2026年) 10月29日(木)～11月4日(水)	郵送受付														
<p>選抜期日</p>	<table border="1" data-bbox="300 1518 1139 1711"> <thead> <tr> <th>学部名</th> <th>試験日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経済学部</td> <td>令和9年(2027年) 2月25日(木)</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>令和9年(2027年) 2月25日(木)</td> </tr> <tr> <td>理工学部</td> <td>令和9年(2027年) 2月25日(木)～2月26日(金)</td> </tr> <tr> <td>都市科学部</td> <td>令和8年(2026年) 12月19日(土)</td> </tr> </tbody> </table>	学部名	試験日	経済学部	令和9年(2027年) 2月25日(木)	経営学部	令和9年(2027年) 2月25日(木)	理工学部	令和9年(2027年) 2月25日(木)～2月26日(金)	都市科学部	令和8年(2026年) 12月19日(土)					
学部名	試験日															
経済学部	令和9年(2027年) 2月25日(木)															
経営学部	令和9年(2027年) 2月25日(木)															
理工学部	令和9年(2027年) 2月25日(木)～2月26日(金)															
都市科学部	令和8年(2026年) 12月19日(土)															
<p>合格者発表日</p>	<table border="1" data-bbox="300 1765 1101 2047"> <thead> <tr> <th>学部名</th> <th>合格者発表日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経済学部</td> <td>第1段階選抜：令和9年(2027年) 2月10日(水) 第2段階選抜：令和9年(2027年) 3月6日(土)</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>第1段階選抜：令和9年(2027年) 2月12日(金) 第2段階選抜：令和9年(2027年) 3月5日(金)</td> </tr> <tr> <td>理工学部</td> <td>令和9年(2027年) 3月6日(土)</td> </tr> <tr> <td>都市科学部</td> <td>令和9年(2027年) 1月13日(水)</td> </tr> </tbody> </table>	学部名	合格者発表日	経済学部	第1段階選抜：令和9年(2027年) 2月10日(水) 第2段階選抜：令和9年(2027年) 3月6日(土)	経営学部	第1段階選抜：令和9年(2027年) 2月12日(金) 第2段階選抜：令和9年(2027年) 3月5日(金)	理工学部	令和9年(2027年) 3月6日(土)	都市科学部	令和9年(2027年) 1月13日(水)					
学部名	合格者発表日															
経済学部	第1段階選抜：令和9年(2027年) 2月10日(水) 第2段階選抜：令和9年(2027年) 3月6日(土)															
経営学部	第1段階選抜：令和9年(2027年) 2月12日(金) 第2段階選抜：令和9年(2027年) 3月5日(金)															
理工学部	令和9年(2027年) 3月6日(土)															
都市科学部	令和9年(2027年) 1月13日(水)															

別表 日本留学試験等の受験を要する科目等

◎→必修 ○→選択

学部・学科	受験を要する 教科・科目等	日本留学試験							要件	英語科目への対応等	
		出題言語 の指定	日本語	理科			総合科目	数学			
				物理	化学	生物		コース1			コース2
経済学部		どちらでも可	◎				◎	◎		合計得点が8割以上の者が出願できる (注)合計得点には、日本語の「記述」の得点は含まない	令和7年(2025年)1月以降に実施されたTOEFL iBT又はTOEIC L&Rを受験していること。 TOEFL iBTはHome Editionを含みます。また、Test Dateスコアを採用します。
経営学部		どちらでも可	◎		○	○	○		◎	合計得点が8割以上の者が出願できる	令和7年(2025年)1月以降に実施されたTOEFL iBT又はTOEIC L&Rを受験した者。 TOEFL iBTはHome Editionを含みます。また、Test Dateスコアを採用します。
理工学部	機械・材料・海洋系学科	日本語	◎	◎	◎				◎		令和7年(2025年)1月以降に実施されたTOEFL iBT、TOEIC L&R又はIELTS(Academic Module)を受験した者。 TOEFL iBTはHome Editionを含みます。また、Test Dateスコアを採用します。IELTS(Academic Module)にはIELTS Onlineを含みます。
	化学・生命系学科	日本語	◎		○	◎	○		◎		
	数物・電子情報系学科	日本語	◎	◎	◎				◎		
都市科学部	建築学科	日本語	◎		◎	○	○		◎		令和6年(2024年)11月以降に実施されたTOEFL iBT、TOEIC L&R又はIELTS(Academic Module)を受験した者。 TOEFL iBTはHome Editionを含みます。また、Test Dateスコアを採用します。IELTS(Academic Module)にはIELTS Onlineを含みます。
	都市基盤学科	日本語	◎		◎	○	○		◎		
	環境リスク共生学科	日本語	◎		○	◎	○		◎		

注1 日本留学試験については、下記へ問い合わせください。

独立行政法人日本学生支援機構 (〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL. 03-6407-7457)

注2 YGEP-N1(渡日前入試)は66ページ参照

2. YGEP-N1(渡日前入試)

実施学部 学科名等	理工学部 機械・材料・海洋系学科(材料工学教育プログラム、海洋空間のシステムデザイン教育プログラム)		
募集人員	機械・材料・海洋系学科で行うYGEP-N1(渡日前入試)と合わせて 2名		
出願要件	<p>日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程(※)を修了した者及び令和9年(2027年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 次の資格のいずれかを授与された者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格 (5) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEAレベル資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際Aレベル資格)のいずれか[3科目以上合格(評価E以上)していること] 3. 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、NEASC、CIS、Cognia、COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び令和9年(2027年)3月31日までに修了する見込みの者 <p>※外国において学校教育における12年の課程とは、地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。</p> <p>【要件】 次の1～4を全て満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する若しくは令和9年(2027年)3月31日までに取得できる者 2. 令和7年(2025年)11月実施又は令和8年(2026年)6月実施の日本留学試験を日本国外で受験し、以下の要件を満たし、かつ試験の合計得点が8割(850点満点中680点)以上である者(合計得点は「日本語」の「記述」を含めた点数) <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-top: 5px;"> <tr> <td>出題言語: 日本語</td> </tr> <tr> <td>受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 必修 物理と化学</td> </tr> </table> 3. 令和6年(2024年)9月以降に実施された①～③のいずれかの成績証明書を提出できる者 <ol style="list-style-type: none"> ① TOEFL iBT (Home Edition を含みます。Test Date スコアを採用します。) ② TOEIC L&R ③ IELTS (Academic Module) ※IELTS Online を含みます。 4. 日本国外に在住している者 <p>注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜に該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格2】に該当する者は出願できます。 2. 志願者は出願時に志望する教育プログラムを選択する必要があります。 	出題言語: 日本語	受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 必修 物理と化学
出題言語: 日本語			
受験科目: 日本語、数学(コース2)、理科 必修 物理と化学			
選抜方法	<p>入学者の選抜は、高等学校等の成績証明書、日本留学試験(募集要項参照)の成績、所定の英語能力を有することを証明する成績証明書、ビデオレター(日本語)の内容、インターネット面接等を総合的に評価して行います。</p> <p>インターネット面接では、現地インターネット環境等により本人確認が困難で改善の余地がない場合、面接を無効とすることがあります。</p> <p>インターネット面接は Zoom 等の Web サービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できる必要があります。インターネット面接は 30 分以内で日本語により行います。志望動機に関する質疑の他、数学・理科に関する基礎的な学力を問う場合があります。</p> <p>選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>		
出願期間	令和8年(2026年) 8月28日(金)～9月 3日(木)【郵送、必着】		
選抜期日	令和8年(2026年)10月 1日(木)		
合格者発表日	令和8年(2026年)10月20日(火)		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC 公開テストのデジタル公式認定証の取扱いについては、募集要項で確認してください。 ・学生募集要項の取得方法や問い合わせ先等の詳細は、67ページを参照してください。 		

VI 学生募集要項(願書)の配布および問い合わせ先

1. 一般選抜および特別選抜の学生募集要項

(1) 掲載予定時期

学部	一般選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜	帰国生徒選抜	外国学校出身者選抜	YOKOHAMA SOCRATES PROGRAM	YGEP-N1 (渡日入試)	YGEP-N1 (渡日前入試)
教育学部	11月中旬	7月下旬	—	—	—	—	—	—
経済学部		6月中旬	—	—	7月上旬	—	11月上旬	—
経営学部		—	9月上旬	9月上旬	—	—	11月下旬	—
理工学部		7月下旬	9月下旬(予定)	—	—	—	11月下旬	7月下旬
都市科学部		7月下旬	—	7月下旬	—	掲載中	9月上旬	—

(2) 取得方法

一般選抜の学生募集要項（ウェブ出願のため出願書類を含まない）及び特別選抜の学生募集要項（出願書類を含む）は、本学ウェブサイトに掲載します。以下のURLから志願者各自がダウンロードおよび印刷をして使用してください。学生募集要項の冊子は発行されないため、資料請求はできません。

<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/essential/index.html>

（トップページ>入試情報>学部入試>資料ダウンロード（学生募集要項等）

2. 学部等所在地及び問い合わせ先

(1) 入試全般

学部	担当	電話番号・メールアドレス	住所
学務・国際戦略部	入試課	045-339-3121, 3123 nyushil@ynu.ac.jp	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8

(2) 各学部の特別選抜

学部	担当	電話番号・メールアドレス	住所
教育学部	学務係	045-339-3261 edu.gakumu@ynu.ac.jp	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2
経済学部	経済学務係	045-339-3508, 3509 int.keizai@ynu.ac.jp	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3
経営学部	経営学務係	045-339-3663, 3664 int.keiei@ynu.ac.jp	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4
理工学部	理工学部入試係	045-339-3821 ses.nyushi@ynu.ac.jp	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5
都市科学部	都市科学部学務係	045-339-3124, 4463 cus.jimu@ynu.ac.jp	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6

※窓口取扱時間は、8:30～12:45及び13:45～17:00です。

※日本国外から電話で問い合わせる場合は、「045-339」を「+81-45-339」に代えてください。

Ⅶ 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の配慮申請

1. 一般選抜

○修学上の配慮については、随時申請を受け付けていますが、申請時期が遅くなると実際の支援開始も遅くなることが想定されますので、入学を志願する学部にかかわらず、配慮を必要とする者はなるべく下記の提出期限までに申請書を提出してください。

心身の障がい等（視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱、発達障がい、その他）により受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、次の(1)～(4)の内容を確認したうえで、下記の様式例を参考にし、配慮申請書を作成し、学務・国際戦略部入試課へ提出してください。

- (1) 原則として令和9年（2027年）1月4日（月）までに申し出てください。配慮申請をしても、本学への出願が義務づけられるわけではありません。
- (2) 本学で申請内容を審査したうえで、下記の日程を目安に、配慮事項の審査結果を郵送で通知します。

本学への配慮申請書の到着時期	本学からの審査結果の発送時期
令和8年（2026年）11月27日（金）まで	令和8年（2026年）12月下旬
令和9年（2027年）1月4日（月）まで	令和9年（2027年）1月下旬

- (3) 上記(1)の期限後でも申請を受け付けます。不慮の事故などにより配慮が必要となった場合は、速やかに申し出てください。
- (4) 申請の内容や時期によっては、希望通りに配慮ができない場合があります。可能な限り早い時期に申し出てください。また、申請書の添付書類などに関して不明な点があれば、学務・国際戦略部入試課へ問い合わせてください。

（配慮申請書様式例（A4判縦））

令和 年 月 日

横浜国立大学長 殿

フリガナ
 氏 名
 生年月日
 住 所 〒
 電話番号
 E-mail

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり配慮を申請します。

記

1. 志願する学部・学科・課程・コース・教育プログラム等
2. 出願を予定している入試・日程（前期日程・後期日程）
3. 障がい等の種類・程度
4. 受験上の配慮を希望する事項・内容
5. 修学上の配慮を希望する事項・内容
6. 出身学校在学中にとられていた配慮事項・内容 ※定期試験等についても記入
7. その他

（添付書類）医師の診断書（原本または写し）
 大学入学共通テスト受験上の配慮事項審査結果通知書（写し） ※該当者のみ
 その他参考資料

2. 各学部の特別選抜

事前相談の要領は上記1.に準じますが、詳細は各入試の学生募集要項を確認してください。

VIII 過去の入試データ

過去3年分の入試データは、下記のウェブサイトに掲載しています（毎年4月中旬に更新）。

<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/enforce/index.html>

(掲載データ)

一般選抜	基本情報※、追加合格者数、最高点、最低点、平均点
総合型選抜	基本情報※、選考段階別受験者数、選考段階別合格者数
学校推薦型選抜	基本情報※
帰国生徒選抜	基本情報※
YOKOHAMA SOCRATES PROGRAM 入試	基本情報※
YGEP-N1（渡日入試）	基本情報※、選考段階別合格者数
YGEP-N1（渡日前入試）	基本情報※
編入学試験	志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、倍率

※基本情報：志願者数（男女別）、受験者数（男女別）、合格者数（男女別）、入学者数（男女別）、倍率

共通テスト 地理歴史・公民2科目受験時に選択可能な組み合わせ一覧

以下の表に加え、各学部や選抜の利用教科・科目を各自で十分に確認してください。

		「地理総合, 地理探究」	「歴史総合, 日本史探究」	「歴史総合, 世界史探究」	「公共, 倫理」	「公共, 政治・経済」	「地理総合／歴史総合／公共」		
							「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」
「地理総合, 地理探究」			○	○	○	○	×	×	○
「歴史総合, 日本史探究」		○		○	○	○	×	○	×
「歴史総合, 世界史探究」		○	○		○	○	×	○	×
「公共, 倫理」		○	○	○		×	○	×	×
「公共, 政治・経済」		○	○	○	×		○	×	×
「地理総合／歴史総合／公共」	選択パターン	「地理総合」	×	×	×	○	○		
		「歴史総合」							
		「地理総合」	×	○	○	×	×		
		「歴史総合」	○	×	×	×	×		

「こども性暴力防止法」令和8(2026)年12月25日施行にあたり、
出願前にご確認いただきたい重要事項について
～実習生も性犯罪前科の有無の確認が求められる可能性があります～

こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）の施行により、令和8(2026)年12月25日より、学校、保育所、学習塾など、こどもに対して教育・保育等を行う事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められます。

これらの事業者において実習等を行う実習生（例：教育実習生）についても特定性犯罪前科の有無の確認が求められる場合がありますので、重要な事項をお知らせします。

①教育実習前の犯罪事実確認について

1. 実習計画において、こどもと一対一になることが実習上予定されている、実習期間が相当長期にわたるなど、実習生がこどもに対して支配性、継続性及び閉鎖性を有する実習であると判断された場合、特定性犯罪前科の有無の確認が必要となる場合があります。なお、特定性犯罪前科の有無の確認が必要かについて最終的な判断は実習先の事業者が行います。

2. 特定性犯罪前科の有無の確認が必要であると判断された場合、実習生本人よりこども家庭庁へ戸籍等の提出が必要となります。

3. 特定性犯罪前科があると確認された者は、こどもと接する実習を行うことはできません。

②教員免許状の取得について

①に記載の特定性犯罪前科が確認されたことによって教育実習を行えない場合、教員免許の取得要件を満たすことができません。

③卒業要件について

本学教育学部においては、教育実習が卒業のための必須科目となっています。したがって、①に記載の特定性犯罪前科が確認されたことによって教育実習を行えない場合、原則として卒業ができません。

④同意書・誓約書の提出について

本学教育学部においては、入学手続の際に本件に関する同意書及び誓約書をご提出いただくとともに、学校等における実習及び児童等と接する諸活動に参加する前に特定性犯罪前科がない旨を誓約いただきますので、ご承知置きくださるようお願いいたします。

なお、教育学部以外の学部で教職課程の履修を予定する者は、実習を行う蓋然性が高くなった段階で同意書・誓約書をご提出いただきます。

⑤出願（入学）に際してのお願い

上記の内容を十分にご理解いただいた上で、出願をご検討ください。

ご不明な点がございましたら、問い合わせ先までご連絡ください。

(お問い合わせ先)

学務・国際戦略部教育企画課教職免許係

E-mail : kyomu.chousa@ynu.ac.jp

【参考】制度の詳細はこちらをご覧ください。

・こども家庭庁 HP「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」

リンク : <https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

注) 実習を行う場合以外においても、学生が、インターンシップやボランティア活動等を通じて対象事業者で児童等と接する業務に従事する場合には、当該対象事業者が当該学生を犯罪事実確認の対象と判断し、犯罪事実確認を求める可能性があります。

交通案内図

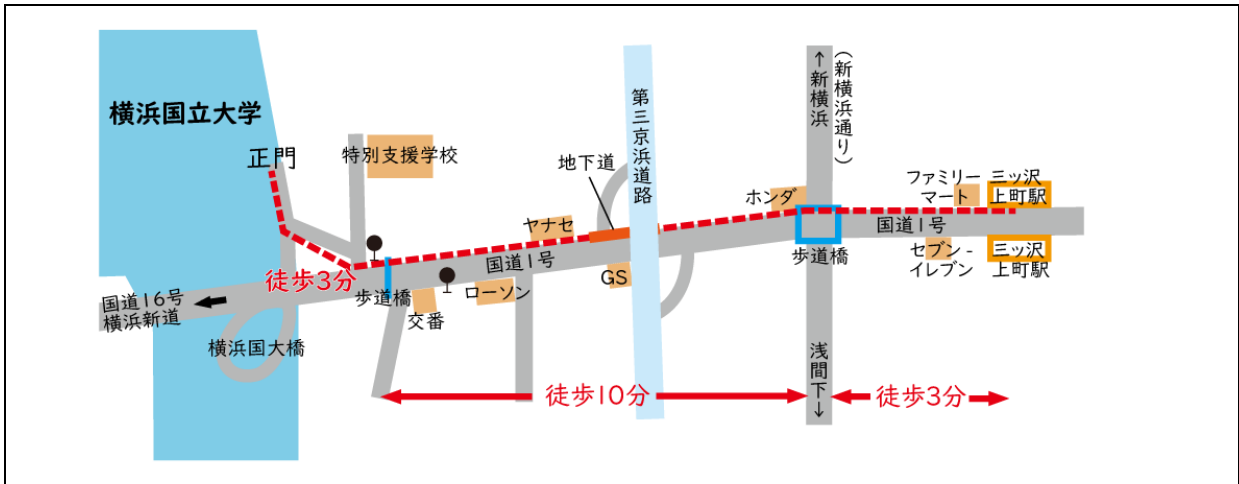
※本学までの経路の詳細は、本学ウェブサイトの「アクセス案内」を参照してください。

<https://www.ynu.ac.jp/access/index.html>

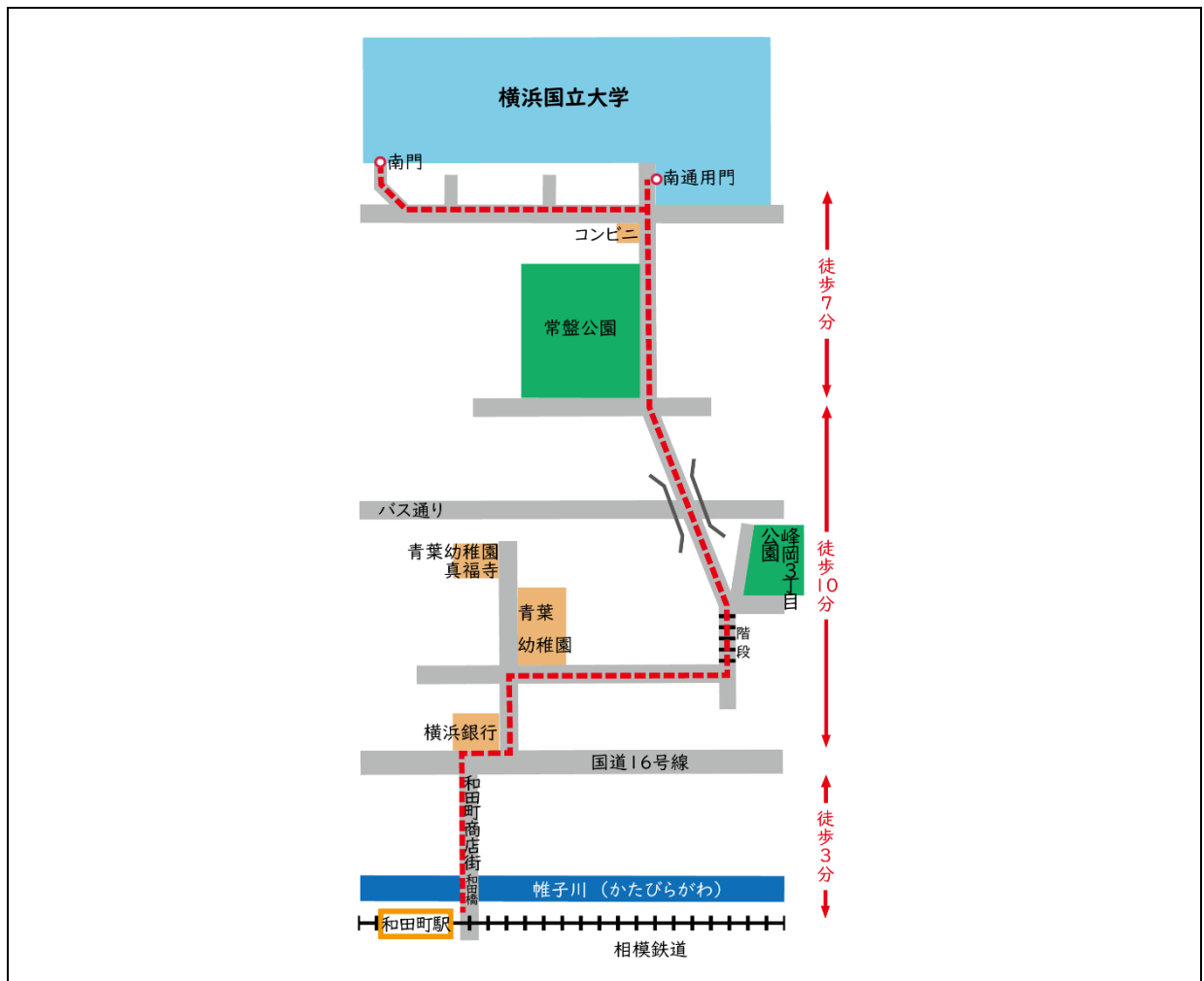
※③の経路には、歩道が非常に狭い箇所がありますので、通行には十分注意してください。

※バスは、運行本数や乗車人員に限りがあるほか、渋滞や悪天候の影響を受けやすく、予測した時間どおりに本学へ到着できないことがあるため、試験当日はバスの利用を推奨していません。

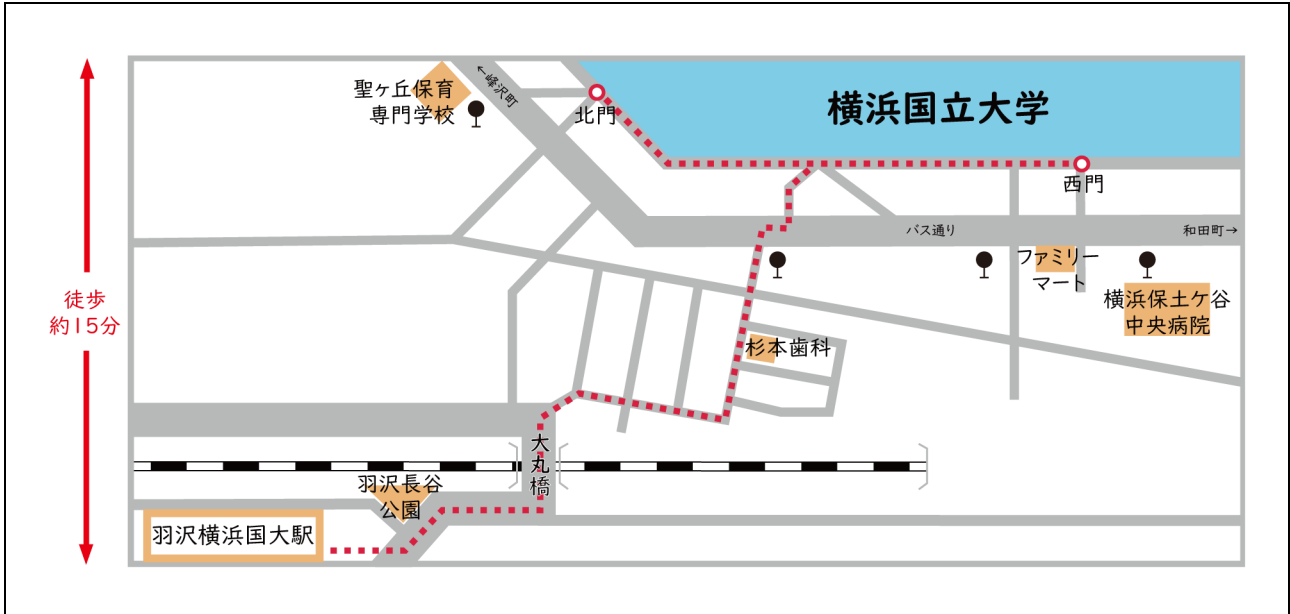
① 横浜市営地下鉄線【三ツ沢上町駅】（改札を出て右側2番出口）から正門へ



② 相鉄線【和田町駅】から南門または南通用門へ



③相鉄・JR直通線／相鉄・東急直通線【羽沢横浜国大駅】から西門または北門へ



④ バス 【横浜駅西口】から正門または大学構内（平日のみ）バス停留所へ



バス会社	乗り場	行き先	【下車停留所】
横浜市営バス	11 番	202 系統「(和田町経由) 横浜駅西口行」 208 系統「(市民病院経由) 横浜駅西口行」	岡沢町
	14 番	循環内回り 201 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内（注 1）
	14 番	急行 329 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内（注 1）
相鉄バス	10 番	浜 10 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内（注 1）
	10 番	浜 5 系統「交通裁判所経由横浜駅西口行」	岡沢町
神奈中バス	13 番	01 系統「中山駅行」	岡沢町

注 1 大学構内のバス停留所（横浜国立大学正門前、国大中央、国大北、国大西、大学会館前、国大南門）は、平日のみ利用可能です。

注 2 上記のバス案内には、運行本数が少ない路線や土曜休日は運行しない路線も含まれます。バスの発車時刻等は、各バス会社のウェブサイト等で確認してください。



◎ 入試情報

横浜国立大学 ウェブサイト <https://www.ynu.ac.jp/>

◎ 本要項についての問い合わせ先

学務・国際戦略部入試課 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-8
TEL : 045-339-3121 E-mail : nyushi1@ynu.ac.jp

教育学部 (学務係)	TEL 045-339-3261
経済学部 (経済学務係)	TEL 045-339-3508、3509
経営学部 (経営学務係)	TEL 045-339-3663、3664
理工学部 (理工学部入試係)	TEL 045-339-3821
都市科学部 (都市科学部学務係)	TEL 045-339-3124、4463

*** 問い合わせは、志願者本人が行うこと。**